

令和 7 年度 第 1 回

理 事 会

日時 令和 7 年 4 月 3 日 (木)

15 時 00 分～

場所 5 階 大会議室

会長挨拶

協議事項

- 1 会長・副会長・常任理事・理事協議事項について

報告事項

- 1 第 158 回日本医師会臨時代議員会の結果について

金井会長

日医

日時：令和 7 年 3 月 30 日 (日) 9:30～

場所：日本医師会館

- 2 郡市医師会別医師会員数 (4 月 1 日現在) ならびに会員異動 (3 月分)について

桃木常任理事

- 3 医療事故調査制度の相談事案 (2 月分) について

松本常任理事

※件数 0 件

4 医療事故紛争解決事例（2月分）について

松本常任理事

田口理事

※件数 1件

5 令和6年度埼玉県医師会医療情報関連講演会の結果について

小室常任理事

飯嶋理事

日時：令和7年3月6日（木）18:00～

場所：埼玉県県民健康センター 1階 大会議室AB

（及びWEB開催）

6 令和6年度日本医師会医療情報システム協議会の結果について

小室常任理事

日医

飯嶋理事

日時：令和7年3月8日（土）～9日（日）

場所：日本医師会 大講堂（及びWEB開催）

7 会長・副会長・常任理事・理事報告事項について

そ の 他

[資 料 配 布] (ホームページ掲載)

- 1 公益財団法人日本医療機能評価機構 医療事故情報収集等事業第80回
報告書の公表について (25枚)

松本常任理事 日医

- 2 医療事故の再発防止に向けた警鐘レポートNo.2の公表について (4枚)

松本常任理事 日医

- 3 「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」の改定につい
て (75枚)

高木常任理事 日医

- 4 黄熱予防接種巡回診療の開始について (3枚)

高木常任理事 日医

金井会長

第158回日本医師会臨時代議員会 次第

日 時 令和7年3月30日(日)午前9時30分
場 所 日本医師会館
東京都文京区本駒込2丁目28番16号

1. 開 会

1. 会長挨拶

1. 報 告

令和7年度日本医師会事業計画及び予算の件

1. 議 事

第1号議案 日本医師会理事選任の件

1. 閉 会

日本医師会理事候補者一覧

公益社団法人 日本医師会

理事候補者 1名 (定数 1名)

1. 加 納 康 至 (大阪府)

*任期：令和 7 年 3 月 30 日より令和 7 年度に関する定例代議員会終結の時まで

日医発第1933号（総務）
令和7年3月30日

都道府県医師会長 殿

公益社団法人 日本医師会
会長 松本 吉郎
(公印省略)

第158回日本医師会臨時代議員会における決議事項等について

本日開催いたしました標記代議員会において、議事として上程いたしました、本会理事1名（任期は、令和7年3月30日から令和7年度に関する定例代議員会終結の時まで）の選任を行う下記の提出議案につきましては、別紙1のとおりとなりましたので、ご通知申し上げます。

また、今回の理事選任に伴う本会役員の順位は別紙2のとおりとなりますので、併せてご通知申し上げます。

記

第1号議案 日本医師会理事選任の件

公益社団法人 日本医師会

理事 1名 (定数 1名)

1. 加 納 康 至 (大阪府)

*任期：令和 7 年 3 月 30 日より令和 7 年度に関する定例代議員会終結の時まで

別紙2

日本医師会役員

(任期：令和6年6月22日～令和7年度に関する定例代議員会終結の時まで)

会長 松本 吉郎

副会長 茂松 茂人
角田 徹
釜 范 敏

理事 尾崎 治夫
福田 稠道
松家 治道
久米川 啓
松村 誠
鈴木 昌則
小泉 ひろみ
志田 正典
村上 美也子
安東 範明
松崎 信夫
大輪 芳裕
三木 恒治
市川 陽子
加納 康至

(令和7年3月30日～)

常任理事 城守 斗之彦
長島 公和
江澤 和彦
宮川 昭司
渡辺 弘司
細川 秀一
今村 仁
黒瀬 巍
坂本 三也
濱口 慶一
笹本 洋之
佐原 博
松岡 かおり
藤原 慶正

監事 松山 正春
松井 道宣
藤原 秀俊

会長挨拶

令和7年3月30日
第158回日本医師会臨時代議員会

1. はじめに

第158回日本医師会臨時代議員会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、日頃より日本医師会の会務運営に特段のご理解とご支援をいただいておりますことに対し、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

本日の臨時代議員会では、来年度の事業計画及び予算の報告に加え、1件の議案を上程いたしております。慎重にご審議の上、なにとぞご承認賜りますよう、お願い申し上げます。

2. 医療機関経営の危機的状況の改善に向けて

現在、病院をはじめとする医療機関の経営は大変厳しい状況にあります。入院も外来も在宅医療も、いずれも経営的に非常に厳しい局面にあるにもかかわらず、一方で政治の世界では医療費削減ありきを出発点とした主張もあります。医療費削減のために何をするかという提案が安易になされることに、心の底から憤慨しています。

こうした危機的状況を国民の皆様方に訴えるべく、日本医師会は、3月12日に6病院団体と合同記者会見を開催し、そこで合同声明を公表いたしました。

賃金上昇と物価高騰、さらには日進月歩する医療の技術革新への対応には、十分な原資が必要であり、補助金や診療報酬による機動的な対応も行わなければなりません。

著しく逼迫した経営状況を鑑みると、まずは補助金での早期の適切な対応が必

要であり、さらに、診療報酬で安定的に財源を確保しなければなりません。令和8年度診療報酬改定の前に、期中改定も視野に入れて、補助金と診療報酬の両面から対応を求めてまいります。

これから令和8年度診療報酬改定へ向け、「骨太の方針2025」の議論が本格化いたします。医療の危機的な状況を開拓するために、「骨太の方針2025」の取りまとめに向けて、3つの対応が必要と考えます。

1つ目は「『高齢化の伸びの範囲内に抑制する』という社会保障予算の目安対応の廃止」です。

「骨太の方針2024」において「経済・物価動向等に配慮しながら」という文言が本文に記載されましたけれども、それでは弱いことから財政フレームを見直し、別次元の対応とする必要があり、さらにそれを強めた文言とするよう、現在、全力で政府・与党に要望しております。

2つ目は、「診療報酬等について、賃金・物価の上昇に応じて適切に対応する新たな仕組みの導入」です。

医療・介護業界でも他産業並みの賃上げができるよう、賃金・物価の上昇を踏まえた仕組みを導入していく必要があります。

現在の医療機関の経営状況では、これ以上の賃上げは到底不可能であり、このままでは人手不足に拍車がかかり、患者さんに適切な医療を提供できなくなってしまいます。

3つ目は、「小児医療・周産期体制の強力な方策の検討」です。

2024年の出生数は69万人弱とされており、好転の兆しは見えていません。小児医療・周産期体制については、著しい人口減少により対象者が激減しており、全国津々浦々で対応するための強力な方策の構築が必要です。

3. 組織強化

組織強化につきましては、私が日本医師会長に就任して以来、力を入れて取り組んでまいりました。その結果、昨年7月末には初めて会員数が17万7千名を突破しました。ご協力いただいた全国の医師会の先生方には改めて深く感謝

申し上げます。

この組織強化の一環として、新たに医師会会員情報システム「MAMIS」を構築いたしました。昨年 10 月から地域医師会への導入が順次始まっており、12 月末までに全国の医師会に導入されております。これにより、これまで書類で行ってきた入会・異動等の手続きを Web 上で行えるようになり、負担が軽減されました。従来は異動時の手続きの煩雑さが退会検討理由の一つになつておりましたが、この課題は MAMIS の導入で解消に向かうものと考えております。今後は入会促進ツールの一つとしても活用を進めてまいります。

医師会の組織強化の眼目は、現場に根差した提言をしっかりと医療政策の決定プロセスに反映させていく中で、医師の診療・生活を支援し、国民の生命と健康を守ることにあります。対外的にも医師会のプレゼンスを一段と高められるよう、日本医師会は引き続き組織強化に努めてまいります。

4. 新たな地域医療構想等の医療法改正

新たな地域医療構想については、新たに「医療機関機能」報告が加わりますが、2025 年度に国で関係ガイドラインを作成し、都道府県においては 2026 年度に新たな地域医療構想の策定、2027 年度以降に順次取組を開始する予定となっております。日本医師会からは、介護との連携なくして医療提供体制の議論は完結しないとの考え方から、地域医療構想に介護を含めるよう提案し、介護事業を運用する市区町村行政の調整会議への参画が明示されるなど、そのコンセプトは実現いたしました。また、現行の「回復期機能」に代えて、高齢者救急等を受け入れ、リハビリ・栄養・口腔管理の一体的取組等を推進し、早期の在宅復帰等を提供する「包括期機能」を提案し、これも実現にいたっております。

これらにつきましては、3 月 19 日に開催した「新たな地域医療構想・医師偏在対策担当理事連絡協議会」でもご説明いたしました。

新たな地域医療構想に加え、医師偏在対策、またいわゆる「直美」問題の美容医療への対応や、適切なオンライン診療の推進等を含む医療法等の改正法案

がとりまとめられ、現在開会中の通常国会に提出されています。

5. 医師偏在対策

医師偏在対策についても、「重点医師偏在対策支援区域」を対象とした「医師偏在是正プラン」の策定や、外来医師過多区域における新規開業希望者に対する地域で必要な医療機能の要請など、各地域での実効性ある取組が求められております。

厚生労働省の「新たな地域医療構想等に関する検討会」の「医師偏在対策に関するとりまとめ案」には、「地域の実情」という言葉が何度も使われ、こうした考え方が盛り込まれたことは評価しております。

一方で、日本医師会は、昨年8月21日に医師偏在対策に対する6項目の提案を行いました。これにより議論が相当進み、昨年の12月25日には、厚生労働省より「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ」が公表されました。総合パッケージには、日本医師会の提案内容が概ね盛り込まれており、基本的には評価できると考えております。

また、かねがね「医師偏在を一つの手段で解決するような『魔法の杖』は存在せず、その解決のためには、あらゆる手段を駆使して複合的に対応していく必要がある」と述べてまいりました。今回の総合パッケージでは、その考えも踏襲し、「医師偏在は一つの取組では正が図られるものではない」と認識した上で、「経済的インセンティブ、地域の医療機関の支え合いの仕組み、医師養成課程の取組等の総合的な対策」を基本的な考え方にしております。中堅・シニア世代に対する、総合的な診療能力などのリカレント教育にも、日本医師会としてしっかり取り組んでいくことが大事だと思っております。今回の総合パッケージは、若手医師だけでなく、全ての世代の医師へのアプローチも謳つており、こうした点でも評価しております。

なお、総合パッケージにあります「全国的なマッチング機能の支援」については、3月21日に厚生労働省より事業公募がなされ、日本医師会女性医師支援センターで、応札に向け、現在対応しているところです。

6. かかりつけ医機能が発揮される制度整備

本年 4 月より、かかりつけ医機能報告制度が施行され、地域における面としてのかかりつけ医機能のさらなる発揮に向けた取り組みが始まります。

私が会長に就任して以降、日本医師会は、令和 4 年 11 月に「地域における面としてのかかりつけ医機能～かかりつけ医機能が発揮される制度整備に向けて～」を提言し、令和 5 年 2 月には「かかりつけ医機能の制度整備にあたっての日本医師会の主な考え方」をお示しするなど、かかりつけ医機能に関する議論を深めてまいりました。

かかりつけ医はあくまで国民が選ぶものです。財務省等が主張するように、「国民にかかりつけ医を持つことの義務付け」や、「フリーアクセスの阻害に繋がるかかりつけ医の制度化」には明確に反対です。

地域を面で支えるためにも、かかりつけ医機能報告制度には、多くの医療機関に手を挙げて参画いただきたいと考えており、日本医師会としても尽力してまいります。

一方で、医師も自ら「かかりつけ医」として選ばれるよう研鑽を積み、国民に理解いただくことも重要です。日本医師会は「かかりつけ医機能報告制度にかかる研修」を新設し、地域に根差して活動をされている医師の経験も十分考慮し、研修修了者に対して修了証を発行する予定です。

これらにつきましては、3 月 26 日に開催した「都道府県医師会かかりつけ医機能担当理事連絡協議会」でも説明いたしました。

7. 医療 DX

医療 DX につきましては、国民・患者の皆様への安全・安心でより良い医療の提供と、医療現場の負担軽減に資するものでなければならないと考えております。加えて、IT に不慣れな方であっても、日本の医療制度から国民も医療者

も誰一人取り残すことがあってはなりませんし、拙速になることなく、現場の状況を見ながら着実に進めていくことも重要であります。

その観点から、昨年末、電子処方箋について、一部の医療機関等におけるシステム設定時の不備により、薬局側で医師の処方と異なる医薬品名が表示される問題が起きた際には、厚労省に根本的な対応と、実情に応じた普及目標の再設定を改めて強く申し入れました。その結果、現場の負担増と混乱を招く五月雨式の機能追加をストップさせることができました。

また、中医協において日本医師会が強く働きかけ、「医療 DX 推進体制整備加算」に電子処方箋導入が要件とならない点数を新設させることができたことは大きな成果であります。

今後も、医療機関の業務負担、費用負担を減らすための医療 DX となるよう、尽力してまいります。

8. 医薬品をめぐる最近の状況について

医薬品の安定供給につきましては、これまで日本医師会が主張してまいりました、ドラッグロス・ラグ解消、医薬品供給網の強化や供給に関する情報共有の促進、後発医薬品の安定供給の確保などの施策を進めるために、厚生労働省は薬機法改正案をとりまとめ、現在開会中の通常国会に提出されております。特に、製薬企業への供給計画の義務付けや流通管理の厳格化は重要な改正事項です。しかしながら、依然として医療現場では医薬品供給不安が続いており、さらなる実効性の向上や迅速な対応が求められるため、補助金等の十分な予算措置も含め、現場の声を踏まえた意見・要望をしっかりと国に伝えていく所存です。

一方で、昨今、社会保険料を下げる目的に、OTC 類似薬の保険適用除外を求める動きが見受けられます。

日本医師会は、医療機関への受診控えによる健康被害や自己負担の経済的増加、薬の適正使用が難しくなるといった問題点を、2月13日の定例記者会見で指摘させていただき、重大な危険性が伴うとして強い懸念を表明いたしました。

保険料を支払っているにもかかわらず保険を使えなくなり、結果として自己負担が増えることや薬の適正使用が難しくなる仕組みは、国民にとって望ましくありません。その結果、国民皆保険から離脱する若者ができるなど、相互扶助である公的医療保険制度の根幹を搖るがす問題に発展する懸念さえあります。

9. 7月の参議院選挙

7月に予定される参議院選挙は、「医療の未来を左右する重要な選挙」であり、日本医師連盟は、7月の参議院議員選挙に本会の釜范敏副会長を組織内候補として擁立することを決定しております。

釜范先生は、6期11年にわたり日本医師会の常任理事・副会長として幅広い業務を担当され、医師会業務に精通し、特に新型コロナウイルス感染症対応では、アドバイザリーボード構成員等を務められるなど、医療界の主張を代弁していただきました。また、政治に対する造詣も深い釜范先生は、地域医療に携わり、地域医療が抱える課題にしっかりと取り組んでおられるだけではなく、幅広い人脈を持っています。今後も新たな人脈を築いていかれるであろうこと、さらには行動力、決断力もあり、余人をもって代え難い存在であります。

釜范先生が大きく飛躍して十分に活動できるよう、本日ご出席の先生方をはじめ会員の皆様におかれましては絶大なる応援をお願いいたします。

10. おわりに

財政健全化の立場から「大きなリスクは共助、小さなリスクは自助」との主張も一部にありますが、日本医師会はそれには反対です。国民生活を支える基盤として、「必要かつ適切な医療は保険診療により確保する」という国民皆保険制度の理念を今後とも堅持すべきであり、給付範囲を縮小すべきではないと考えております。

低所得者層の貧困化も社会問題となる中、所得などによって、必要な医療を

利用できる患者さんと利用できない患者さんの間での分断を生み出してはなりません。

日本医師会はこれまで、「税金による公助」、「保険料による共助」、「患者さんの自己負担による自助」の 3 つのバランスを取りながら進め、自己負担のみを上げないこと、あわせて、低所得者への配慮が重要であることを主張してまいりました。

高齢化の伸び等により財政が厳しいことも承知しておりますが、安全性や公平性を損なわないよう、慎重な議論とバランスの取れた政策が求められます。

結びにあたり、今後とも国民の生命と健康を守るべく、本会執行部に対しまして皆様からの絶大なるご支援を賜りますよう切にお願い申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

MEDIFAX

株式会社 じほう

<https://mf.jiho.jp/>

弊社の許諾なしに、転送・転載、複写そのほかの複製、翻訳、およびデータの使用は固くお断りいたします ©2025 じほう

■ 診療報酬に不満・要望相次ぐ 日医代議員会、1点単価スライド案も

日本医師会が30日に開催した臨時代議員会では、2024年度診療報酬改定で新設された生活習慣病管理料（II）などの廃止を求める質問を発端に、現在の診療報酬に対する不満や要望が相次いだ。物価変動に応じて1点単価をスライドさせる案も飛び出ましたが、松本吉郎会長は「功罪相半ばする非常に難しい問題」と述べ、慎重な議論が必要との認識を示した。

同管理料については、小沼一郎代議員（栃木）が「実に理不尽なルールで、今までより時間をかけ丁寧に診療をしている医師から診療報酬を削減している改悪だ」として廃止を要望した。これに対し、答弁に立った城守国斗常任理事は「社会保障関係費を『高齢化による増加分に相当する伸びに收める』という、いわゆる『目安対応』が骨太の方針2021に書き込まれ、この考え方が現在も踏襲されていることが根本原因」と指摘。『目安対応』というフレームを取っ払うためにも、松本会長や関係議員から政府にしっかりと要望している」と理解を求めた。

加川憲作代議員（岐阜）は、同管理料を算定できるのが月1回に限られていることについて「例えば、月初と月末に適切な投薬を行った場合、診療報酬として報われないといつらい」などと述べ、適切な治療に対して算定できるよう丁寧な議論を要望した。

●物価・人件費対応、「ばらつき」に問題意識

加藤雅通代議員（愛知）は「今までのよう、物価や人件費などの上昇を診療報酬に反映させると、算定している医療機関とそうでない医療機関でばらつきが生じる」と指摘。物価動向に応じて、1点単価をスライドさせてはどうかと提案した。

これに対し、城守氏は「1点単価自体を触ってしまうと、デフレになったり他の変動要因が生じたりした時、単価を容易に変えられることになってしまう」と説明。物価変動などをどのように反映させるか、日医で検討を進めているとした。松本会長も「1点単価の話は、功罪相半ばする非常に難しい問題」ととの認識を表明。病院と診療所、地域間、診療所間などで点数が変わるなど、「非常に根幹に関わる問題」と述べ、慎重な姿勢を示した。

須藤英仁代議員（群馬）は、自民党、公明党とともに社会保障改革の協議に加わる日本維新の会が、年間で国民医療費を4兆円削減し、現役世代1人当たりの社会保険料を6万円下げるべきと主張していることを問題視。日医として、しっかりと対応するよう求めた。藤田泰宏代議員（高知）も「いま日医に必要なのは、各論よりも総論」などと述べ、維新の主張に対し「正面から突破するといった論理構成をお願いしたい」と訴えた。

(藤田 昌吾)

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

■ 医療機関支援、期中改定も視野に補助金・報酬で

松本会長

【挨拶要旨】挨拶に先立って、3月28日に発生したミャンマー中部を震源とする大地震の被害に遭われた皆さんに謹んで哀悼の意を表するとともに心よりお見舞い申し上げる。

報道によると、ミャンマーで実権を握る軍は29日夜の時点で、国内で1644人が亡くなり、3408人が負傷したと明らかにしているが、今後、被害のさらなる拡大も懸念されている。

日医では、ミャンマー医師会に対し、支援金として、まず500万円の支出を緊急で予定している。今後の被害状況を注視しながら、さらなる支援についても検討を進めしていく。

現在、病院をはじめとする医療機関の経営は大変厳しい状況にある。入院も外来も在宅医療も、いずれも経営的に非常に厳しい局面であるにもかかわらず、政治の世界では医療費削減ありきを出発点とした主張もある。医療費削減のために何をするかという提案が安易になされることに、心から憤慨している。

こうした危機的状況を国民の皆さん方に訴えるべく、日医は3月12日に6病院団体と合同記者会見を開催し、合同声明を公表した。賃金上昇と物価高騰、さらには日進月歩する医療の技術革新への対応には十分な原資が必要で、補助金や診療報酬による機動的な対応も行わなければならない。

著しく逼迫した経営状況を鑑みると、まずは補助金での早期の適切な対応が必要で、さらに診療報酬で安定的に財源を確保しなければならない。2026年度診療報酬改定の前に、期中改定をも視野に入れて、補助金と診療報酬の両面から対応を求めていく。

●骨太2025、財政フレームを見直して別次元の対応を

これから、26年度診療報酬改定に向け、「骨太の方針2025」の議論が本格化する。医療の危機的な状況を開拓するため、取りまとめに向けた3つの対応が必要と考えている。

1つ目は「高齢化の伸びの範囲内に抑制する」という社会保障予算の目安対応の廃止だ。「骨太の方針2024」では「経済・物価動向等に配慮しながら」という文言が本文に記載されたが、それではまだ弱い。財政フレームを見直して別次元の対応とする必要があり、さらに強めた文言とするよう、現在、全力で政府・与党に要望している。

2つ目は診療報酬等について、賃金・物価の上昇に応じて適切に対応する新たな仕組みの導入だ。医療・介護業界でも他産業並みの賃上げができるよう、賃金・物価の上昇を踏まえた仕組みを導入していく必要がある。現在の医療機関の経営状況では、これ以上の賃上げは到底不可能だ。このままでは人手不足に拍車がかかり、患者に適切な医療を提供できなくなってしまう。

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

3つ目は小児医療・周産期体制の強力な方策の検討だ。24年の出生数は69万人弱とされており、好転の兆しは見えていない。小児医療・周産期体制は、著しい人口減少により対象者が激減しており、全国津々浦々で対応するための強力な方策の構築が必要だ。

組織強化については、私が日医会長に就任して以来、力を入れて取り組んできた。その結果、昨年7月末には初めて会員数が17万7000人を突破した。ご協力いただいた全国の医師会の先生方には、改めて深く感謝を申し上げる。

組織強化の一環として、新たに医師会会員情報システム「MAMIS」を構築した。昨年10月から地域医師会への導入が順次、始まっており、12月末までに全国の医師会に導入された。これまで書類で行ってきた入会・異動時の手続きをウェブ上で行えるようになり、負担が軽減された。従来は異動時の手続きの煩雑さが退会検討理由の一つになっていたが、MAMISの導入で解消に向かうと考えている。今後は入会促進ツールの一つとしても活用を進めていく。

組織強化の眼目は、現場に根差した提言をしっかりと医療政策の決定プロセスに反映させていく中で、医師の診療・生活を支援し、国民の生命と健康を守ることにある。対外的にも医師会のプレゼンスを一段と高められるよう、引き続き組織強化に努めていく。

新たな地域医療構想については、医療機関機能報告が加わるが、25年度に国で関係ガイドラインを作成し、26年度に都道府県で新たな地域医療構想の策定、27年度以降に順次、取り組みを開始する予定となっている。

日医からは、介護との連携なくして医療提供体制の議論は完結しないとの考え方から、地域医療構想に介護を含めるよう提案した。介護事業を運用する市区町村行政の調整会議への参画が明示されるなど、そのコンセプトは実現している。

また、現行の「回復期機能」に代えて、高齢者救急等を受け入れ、リハビリ・栄養・口腔管理の一体的取り組み等を推進し、早期の在宅復帰を提供する「包括期機能」を提案し、実現に至った。

新たな地域医療構想に加え、医師偏在対策、いわゆる「直美」問題の美容医療への対応や、適切なオンライン診療の推進等を含む医療法等の改正法案が取りまとめられ、現在開会中の通常国会に提出されている。

●医師偏在対策、「基本的に評価」

医師偏在対策について、「重点医師偏在対策支援区域」を対象とした「医師偏在是正プラン」の策定や、外来医師過多区域での新規開業希望者に対する地域で必要な医療機能の要請など、各地域での実効性ある取り組みが求められている。

厚生労働省の「新たな地域医療構想等に関する検討会」の「医師偏在対策に関する

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

取りまとめ案」では、「地域の実情」という言葉が何度も使われ、こうした考え方方が盛り込まれたことは評価している。一方で、日医は昨年8月21日、医師偏在対策に対する6項目の提案をした。これによって議論が相当進み、昨年12月25日には、厚労省から「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ」が公表された。総合パッケージには、日医の提案内容がおおむね盛り込まれている。基本的には評価できると考えている。

また、かねがね「医師偏在を一つの手段で解決するような『魔法の杖』は存在せず、解決のためにはあらゆる手段を駆使して、複合的に対応していく必要がある」と述べてきた。今回の総合パッケージでは、その考えも踏襲し、「医師偏在は一つの取り組みでは正が図られるものではない」と認識した上で、「経済的インセンティブ、地域の医療機関の支え合いの仕組み、医師養成過程の取り組み等の総合的な対策」を基本的な考え方についている。中堅・シニア世代に対する総合的な診療能力などのリカレント教育にも日医としてしっかりと取り組んでいくことが大事だと思っている。今回の総合パッケージは若手医師だけではなく、全ての世代の医師へのアプローチもうたっており、そうした点でも評価している。

なお、総合パッケージにある「全国的なマッチング機能の支援」については、3月21日に厚労省から事業公募がなされ、日医女性医師支援センターで応札に向け、現在、対応している。

●かかりつけ医の義務化・制度化、明確に反対

今年4月から、かかりつけ医機能報告制度が施行され、地域における面としてのかかりつけ医機能のさらなる発揮に向けた取り組みが始まる。

私が会長に就任して以降、日医は22年11月に「地域における面としてのかかりつけ医機能～かかりつけ医機能が発揮される制度整備に向けて～」を提言し、23年2月には「かかりつけ医機能の制度整備にあたっての日医の主な考え方」を示すなど、かかりつけ医機能に関する議論を深めてきた。

かかりつけ医はあくまで国民が選ぶものだ。財務省等が主張するように、「国民にかかりつけ医を持つことの義務付け」や「フリーアクセスの阻害につながるかかりつけ医の制度化」には明確に反対だ。

地域を面で支えるためにも、かかりつけ医機能報告制度には、多くの医療機関に手を挙げて参画いただきたいと考えている。日医としても尽力していく。

一方で、医師側も自ら「かかりつけ医」として選ばれるよう研鑽を積み、国民に理解をしていただくことも重要だ。日医は「かかりつけ医機能報告制度にかかる研修」を新設し、地域に根差して活動されている医師の経験も十分考慮し、研修修了者に対しては修了証を発行する予定だ。

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

医療DXについては、国民・患者への安全・安心でより良い医療の提供と、医療現場の負担軽減に資するものでなければならない。加えて、ITに不慣れな人であっても、日本の医療制度から国民も、医療者も誰一人取り残すことがあってはならない。拙速になることなく、現場の状況を見ながら着実に進めていくことは、大変重要だ。

その観点から昨年末、電子処方箋について、一部の医療機関等でのシステム設定時の不備により、薬局側で医師の処方と異なる医薬品名が表示される問題が起きた際には、厚労省に根本的な対応と実情に応じた普及目標の再設定を改めて強く申し入れた。その結果、現場の負担増と混乱を招くさみだれ式の機能追加をストップさせることができた。

また、中医協で日医から強く働きかけ、「医療DX推進体制整備加算」に電子処方箋導入が要件とならない点数を新設させることができたのは、大変大きな成果だと思っている。今後も医療機関の業務負担、費用負担を減らすための医療DXとなるように尽力していく。

●OTC類似薬の保険適用除外、重大な危険性が伴う

医薬品の安定供給については、これまで日医が主張してきたドラッグロス・ラグの解消、医薬品供給網の強化や供給に関する情報共有の促進、後発医薬品の安定供給確保などの施策を進めるために、厚労省は薬機法改正案を取りまとめ、現在開会中の通常国会に提出している。特に製薬企業への供給計画の義務付けや流通管理の厳格化は重要な改正事項だ。しかしながら、依然として、医療現場では医薬品の供給不安が続いていること、さらなる実効性の向上や迅速な対応が求められるため、補助金等の十分な予算措置も含め、現場の声を踏まえた意見・要望をしっかりと国に伝えていく。

一方で、昨今、社会保険料を下げる目的で、OTC類似薬の保険適用除外を求める動きが見受けられる。日医は医療機関への受診控えによる健康被害や自己負担の経済的増加、薬の適正使用が難しくなるといった問題点を、2月13日の定例記者会見で指摘し、重大な危険性が伴うとして強い懸念を表明した。保険料を支払っているにもかかわらず、保険を使えなくなり、結果として自己負担が増えることや、薬の適正使用が難しくなる仕組みは国民にとって望ましくない。その結果、国民皆保険から離脱する若者が出るなど、相互扶助である公的医療保険制度の根幹を揺るがす問題に発展する懸念さえある。

●参院選は「医療の未来を左右」、釜范氏への支援を

7月に予定されている参院選は、医療の未来を左右する重要な選挙だ。日本医師連盟は日医の釜范敏副会長を組織内候補として擁立することを決定している。自民党からも公認を得ている。

釜范先生は6期11年にわたり、日医の常任理事、副会長として幅広い業務を担当さ

79

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

れ、医師会業務に精通している。特に新型コロナウイルス感染症対応ではアドバイザリーボード構成員等を務められるなど、医療界の主張を代弁していただいた。

また、政治に対する造詣も深い釜蒼先生は、地域医療に携わり、地域医療が抱える課題にしっかりと取り組んでおられるだけではなく、幅広い人脈をお持ちだ。今後も新たな人脈を築いていかれるであろうこと、さらには行動力、決断力もあり、余人をもって代え難い存在だ。

釜蒼先生が大きく飛躍して、今後も十分に活動できるよう、ご出席の先生方をはじめ、会員の皆さんには、絶大な応援をお願いしたい。

投票予定日まで112日となった。釜蒼先生は全国を巡り、もう3周目に入っているが、釜蒼先生だけで難しいところは、私たち役員が総出で回る。都道府県医師会だけではなく、郡市区医師会等の医師連盟、医師会にもお願いに伺う。よろしくお願いする。

●保険給付範囲の縮小に反対

財政健全化の立場から「大きなリスクは共助、小さなリスクは自助」との主張も一部にあるが、日医はそれに反対している。国民生活を支える基盤として「必要かつ適切な医療は保険診療で確保する」という国民皆保険制度の理念を今後とも堅持すべきであり、給付範囲を縮小すべきではない。

低所得者層の貧困化も社会問題となる中、所得などで必要な医療を利用できる患者と、利用できない患者との間での分断を生み出してしまうはならない。日医はこれまで、「税金による公助」「保険料による共助」「患者の自己負担による自助」の3つのバランスを取りながら進め、自己負担のみを上げないこと、併せて、低所得者への配慮が重要であることを主張してきた。今後もこの主張を続ける。

高齢化の伸び等により財政が厳しいことも承知しているが、安全性や公平性を損なわないよう、慎重な議論とバランスの取れた政策が求められる。今後とも国民の生命と健康をしっかりと守るべく、執行部に対して皆さま方から絶大なるご支援を賜りますよう切にお願い申し上げて、私からの挨拶とさせていただく。

MEDIFAXweb <https://mf.jiho.jp/>

お問い合わせは▼

FAX版と同一料金でさらに便利！

リアルタイムで配信！

記事検索、E-ブック



関連資料PDF、寄稿、時事解説、記者コラム

WEB限定の機能やコンテンツが充実しています！



80

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

■ 財政フレーム見直し、骨太向け「強力に行動」

茂松副会長

【日医代議員会・答弁要旨】病床を持つ医療機関の経営は、かつてないほど危機的な状況にあると認識している。物価高騰への対応では、過去3年間で4回にわたって重点支援地方交付金による補助が行われた。2024年度補正予算でも、賃上げ対応を含めた一定の補助が実現した。

しかし、昨今の急激な物価高騰や人件費上昇には到底追いついていない。給付までに時間がかかることや、事業によっては自治体ごとにばらつきがあることが課題で、改善を繰り返し主張している。

日医では今年3月に6病院団体との合同声明で「期中改定の対応も必要」との基本姿勢を表明し、歩調を合わせて対応した。26年度診療報酬改定に向けては、松本会長が何度も発言している通り、社会保障予算に関する財政フレームの見直しが不可欠と考えている。「高齢化の伸びの範囲内に抑制する」という目安対応の廃止や、賃金・物価の上昇に応じて適切に対応する新たな仕組みの導入を求めている。

6月の閣議決定に向けて「骨太の方針」の議論が本格化するが、これらの点が盛り込まれることが極めて重要であり、今後、強力に行動していく。

【赤石隆代議員（宮城）の代表質問に対する答弁】

■ 目安対応廃止へ、政府・与党へ「全力で要望」

城守常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】2024年度診療報酬改定で、財務省は診療所の経営状況は良好なものとのデータを示し、マイナス5%超の改定率を主張した。

激しい議論の結果、地域の先生方の尽力もあり、最終的な改定率は診療報酬本体はプラス0.88%となつたが、生活習慣病を中心とした管理料、処方箋料などの項目指定としてマイナス0.25%の適正化も同時に求められた。これは医療費ベースで1250億円を外来医療費から削減することを意味する。

これらは社会保障関係費を「高齢化による増加分に相当する伸びに収める」という、いわゆる「目安対応」が骨太の方針2021に書き込まれ、この考え方が現在も踏襲されていることが根本原因と考える。リフィル処方箋、生活習慣病管理料（II）も目安対応の一環だ。

骨太の方針2024では「目安対応」の記述は残った一方、日医の主張によって「経済・物価動向等に配慮しながら」という文言を本文に記載することができた。

今後、26年度改定に向けて、骨太の方針2025の議論が本格化する。日医は緊縮財政派による医療費削減に向けた動きを止めるためにも、目安対応を廃止すべきと主張しており、現在、全力で政府・与党に要望している。

【小沼一郎代議員（栃木）の代表質問に対する答弁】

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

■ 新構想、地域医師会の意見も反映

坂本常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】新たな地域医療構想について、日医には、▽地域医療対策委員会▽病院委員会▽有床診療所委員会一があり、厚生労働省の検討会などに参画する役員間で最新の情報を共有している。各委員会にはブロック医師会から委員を推薦していただいている。3月19日には、新たな地域医療構想と医師偏在対策の担当理事連絡協議会を開催した。こうした活動を通じ、地域医師会の意見を日医としてしっかりと受け止め、国に伝えていく。

在宅医療の提供体制は、需要が急増する地域や減少する地域の将来展望に応じ、それぞれ考えていく必要がある。介護サービスも検討していかなければならない。加えて、高齢者や要介護認定者の増加に対し、病床稼働率は低下するなど、当初は想定されていなかった事象が起きている。日医は、従来の性・年齢階級別の人ロや受療率による現状投影モデルだけで捉えるべきではないと主張しており、新たな地域医療構想のガイドラインなどにもこうした考えを反映させるべく、議論に臨む。

地域医療介護総合確保基金による補助は、施設や設備だけでなく、日医の要請によって地域連携や再編統合の人材支援などのソフト事業にも認められている。引き続き、対象事業の拡充や弾力的な運用を国に要求していく。

【秋山欣文代議員（静岡）の代表質問に対する答弁】

■ かかりつけ制度、「医療費削減」招かぬよう主張

城守常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】日医は2023年2月、かかりつけ医機能の制度整備についての考えを公表し、フリーアクセスの阻害につながる、かかりつけ医の制度化には明確に反対した。

その後、日医も参画した厚生労働省分科会での議論、先月締め切られたパブリックコメントも踏まえ、かかりつけ医機能報告制度は、日医の考えに沿う形で、この4月より施行されることになった。

ただし、財務省などを中心に、登録制をはじめ、かかりつけ医の制度化に向けた主張が、今後も展開されてくる懸念は十分にある。フリーアクセスの制限は、患者さんにとっても、日本の医療にとっても、決して望ましいものではない。引き続き、日医はフリーアクセスを守るべく、これまでの主張を重ねていく。

（かかりつけ医機能の）2号機能については、現在、有無を報告すればいいという形で、制度が設計されている。現時点では、数量的な評価につながる恐れはない。

今後とも（かかりつけ医機能報告）制度が、医療費の削減、医療提供体制の改悪を招く手段として利用されることがないよう、鋭意、主張を重ねていく。

【三浦一樹代議員（兵庫）の代表質問に対する答弁】

82

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

■ 訪看STのサービス、不適切ならば「正すべき」 佐原常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】3月12日の中医協で、訪問看護ステーション(ST)への指導の見直しが議論された。訪看STへの指導は、2003年に規定された指導要綱に基づいて実施されているが、個別指導は情報提供によるものに限られ、年間20件程度しか実施されていないという。

そこで、▽レセプト1件当たりの請求額が高額▽複数の都道府県で広域に運営されている一ケースを対象に、指導の仕組みを新設することが、日医から参画する委員も含めて了承された。高額な請求をする事業所が、一律に不正を行っているということではないが、どのようなサービス提供を行っているのかを個別指導で確認し、仮に不適切であれば正していくことが必要だ。

高齢者施設や高齢者住宅の適切な運営について、日医はこれまでも、厚生労働省に対応を強く求めてきた。その結果、国の「有料老人ホーム設置運営標準指導指針」に、▽入居者が医療機関を自由に選択することを妨げない▽介護サービスの利用に当たっては特定の事業者からのサービス提供に限定・誘導しない—と明記された。

厚労省で新たに、有料老人ホームでの課題を議論する検討会が設置予定のため、引き続き対応を協議していく。 【莊司輝昭代議員（東京）の代表質問に対する答弁】

■ サイバーセキュリティ対応「充実努める」

長島常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】医療のサイバーセキュリティ（CS）において、スマートフォンは重要で、特にサードパーティーのアピリストア解禁によるリスクへの対応が必要だと考える。

「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン（GL）」の改定作業は始まっているが、改定作業班に日医総研から専門家が参画している。（懸念される）指摘事項への対応を働きかけていく。

オンライン診療のセキュリティについて、2023年3月に厚生労働省が「オンライン診療の適切な実施に関する指針」を改訂し、CS対策の記載も充実が図られた。オンライン診療システムと電子カルテなど医療情報システムとのネットワークの分離に関する記載として「オンライン診療において、医療情報システムに影響を及ぼす可能性があるオンライン診療システムを使用する際は『医療情報安全管理関連GL』に沿った対策を併せて実施すること。なお、汎用サービスを使用する際は、汎用サービスが医療情報システムに影響を与えない設定とすること」と追加された。

日医ホームページのメンバーズルーム内のページで、厚労省指針から該当する対策を整理して掲載し、都道府県医師会に周知した。CSに関して、会員に対する情報共有と相談体制の充実に努めたい。 【目々澤肇代議員（東京）の代表質問に対する答弁】

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

■ 勤務医の意見集約へ委員会を合同開催

今村常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】医師の働き方改革や医師の偏在対策については、医療現場の声を丁寧にくみ上げ、制度の決定プロセスに反映させることが極めて重要だ。そのため、勤務医委員会と病院委員会の合同開催を新たな試みとして行う。このほか、役員が各地を訪問し勤務医の声を直接聞く機会を増やすよう努めている。

地域の特性に応じた枠組みをさらに充実・活用することが、多様な意見の集約につながると考えている。ブロック単位で勤務医の意見を集約する取り組みに加え、各都道府県医師会に設置されている部会・委員会を通じて意見を集約し、日医に届けてもらうことも重要だ。

これらの仕組みが有機的に機能することで、若手医師たちの意見を拾い上げるシステムの実現につながる。日医では2021年度に勤務医活動助成費を倍増した後も増額を図るなど、地域の取り組みを積極的に後押ししている。

勤務医の声が届いていると実感してもらい、日医の存在をより身近に感じてもらうことも極めて重要と考えている。既存の広報手段のさらなる活用を検討することに加え、シンポジウムなどを通じ医師会活動に対する臨床研修医や若手勤務医の理解醸成にも努めたい。

【若林久男代議員（香川）の代表質問に対する答弁】

■ 医療DX、現場実態に即した要望を継続

長島常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】医療DXに対する基本姿勢として日医は、日本の医療制度から国民も医療者も誰一人取り残さず、かつ恩恵を享受できるようにすることを掲げている。特に高齢の会員など、ITが苦手な方においては重要だと考えている。

オンライン資格確認システムの導入補助金については、当初は申請がオンラインのみだったが、日医として強く申し入れ、紙での申請が可能になった。今後もいろいろな手続きの簡略化や相談窓口の設置を国に強く求めるとともに、電子カルテに慣れていただく方策など、会員の先生方を支援していく。

電子カルテ情報共有サービスについては、導入や維持、セキュリティーの費用は、本来、国が全額を負担すべきであると主張してきた。日医総研が昨年実施した調査で、電子カルテの種類や契約形態によって導入費用のばらつきが大きい実態が明らかになつたため、補助率および上限額を現実的な額に引き上げるよう強く要望している。

保守管理費用に充当する「医療DX推進体制整備加算」については、日医として現状認識と普及率の考慮を強く求めた結果、電子処方箋の導入が要件とならない点数が新設された。同様に、今後も実態に即した対応を求めていく。

【友岡俊夫代議員（奈良）の代表質問に対する答弁】

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

■ 控除対象外消費税、解決は「最重要の課題」

宮川常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】控除対象外消費税の問題については、昨今の物価上昇を受け、特に病院の消費税負担はますます増大しており、一刻も早い解決が求められる最重要の課題だ。日医は長年、この問題を税制要望の一番に掲げ、要望活動をしてきた。

医療機器、医療材料、医薬品、委託費にかかる消費税を免税すべきとの（代議員の）ご提案は、重要なご指摘だ。すでに、会内の医業税制検討委員会では、医療機関の仕入れ段階の消費税に注目し、高額な投資への配慮として、一部を免税する仕組みの検討を開始している。ご指摘はそれに共通するものと理解して、さらに検討を進めていく。

医師偏在対策のための所得税の減税措置についても、ご指摘の通り、予算措置を補完する有効な施策と考える。

政府は2024年度補正予算で、重点医師偏在対策支援区域での承継・開業に対する補助金を措置した。こうした取り組みを広げ、さらに推し進めるため、偏在対策を支援する新たな税制措置の創設を、医業税制検討委で検討していた。

ご指摘いただいた、へき地に勤務する医師など、偏在解消に協力的な病院勤務医への減税措置は、重要な観点だ。これについても、偏在対策に資する税制措置として、引き続き検討していく。

【大原正範代議員（北海道）の代表質問に対する答弁】

■ 救急での選定療養、「処遇改善の一策」

細川常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】救急要請時の緊急性が低い場合の選定療養費については、医療現場の負担軽減や疲弊防止につながり、勤務医の処遇改善の一策と考えている。日医としては、茨城県や三重県松阪市の先行事例をしっかりと参考にさせていただきながら、どの地域であっても医療への影響が出ないよう、全国展開について、厚生労働省や消防庁の検討会などで議論に臨んでいく。

勤務医の疲弊と環境改善に対する考え方については、日医としても極めて重要な課題と認識している。特に、勤務医との直接的な対話に努める中で、その声をしっかりと受け止め、さまざまな課題の解決に努めていく姿勢は、日医の基本的な考え方でもある。

勤務環境の課題については、勤務先などの経営改善も不可欠なことから、病院団体との連携を深めていく。大学との関係強化はもとより、3月12日には、6病院団体とともに経営改善を求める合同声明を行った。加えて、4月11日には、日医の病院委員会と勤務医委員会の合同委員会という初めての試みを行う。こうした新たな活動も通じて、なるべく多くの勤務医の先生方の考えを共有し、勤務環境の改善につなげていく。

日医は、勤務医の先生方の声を一段としっかりと受け止めしていく中で、医療界が一丸となって、より良い医療環境を実現していきたいと考えている。

【原晃代議員（茨城）の代表質問に対する答弁】

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

■ 承継支援「情報共有の機会や広域マッチングを検討」 藤原常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】地域医療を支えてきた医師が高齢化し、後継問題が各地で顕在化している。特に地方は、患者減少による経営基盤の脆弱化などから、親族間の承継を諦め、廃業を考える先生がいる。

強い責任感と使命感を持って、園医や学校医など地域社会で不可欠な役割を担ってきた先生方が多くいる。この地域に対する思いをつなぐことが、真の医療の承継だ。従って医師会が関わることには大きな意義がある。

(医業承継支援事業の)先行事例として、福島県医師会では22例、秋田県医師会では2例の承継実績がある。山形県医師会では今年から承継事業を開始した。

先行事例には参考となる点も多いと思われ、情報共有の機会の設定を検討する。広域でマッチング情報を共有できる仕組みも検討する。

日医は2020年に民間事業者と「第三者医業承継のトライアル事業に関する包括連携協定」を結んだ。

その一環で秋田県医師会が金融機関を含む四社で協定を締結した。事業承継セミナーを実施したと伺っている。仲介料が高額などの理由で、承継の事案はないという。

今後も、地域の実情に即した支援を検討する。

【鳥澤英紀代議員（岐阜）の代表質問に対する答弁】

■ 病院団体との緊密な連携、「さらに深める」 角田副会長

【日医代議員会・答弁要旨】日医と病院団体はそれぞれの立場から、意見が多少異なる場合も当然ある。しかし、われわれは国民の生命と健康を守ることが最大の使命だ。

急激な人口減少、物価高騰、人件費の上昇、災害や新興感染症など有事の対応と、厳しい環境の中で、医療界は大同団結して対応していく必要がある。3月26日に開催された日医・四病院団体協議会懇談会でも、改めて連携を確認した。

ご指摘のように、財務省などは財政的な見地から、診療報酬改定、医療機能の強制的な分化・集約などを念頭に、これまでも幾度となく、病院と診療所の分断を図ってきた。しかし、そのたびに強固な連携の下で対応してきた。

緊縮財政の立場からの恣意的な分断工作を今後もはね返すためには、医療界全体として状況を正確に把握し、その情報を全員で正しく共有することが極めて重要だ。そのために、情報発信や対話を続けていく。適切な医療現場の声を国や政府にしっかりと届け、国民に資する医療政策を実現するために、医療界全体で一致団結して取り組んでいく。

日医は、医療界が一体・一丸となっての取り組みを、より一層進めていくためにも、引き続き病院団体との緊密な連携をさらに深めていく。

【案浦美雪代議員（福岡）の代表質問に対する答弁】

12 / 16

《無断複写（転載・転送）禁止》

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

■ 次の感染症有事、会議体に「全力で参画」

釜范副会長

【日医代議員会・答弁要旨】国は次なるパンデミックに備え「内閣感染症危機管理統括庁」を設置した。今年4月には「国立健康危機管理研究機構（JIHS）」を設立し、感染症の情報が集約されるようになる。現時点では新型コロナウイルス感染症対策のための有識者による会議は解散しているが、今後も有事の際には開催すると予想される。

有識者による会議で合意された内容と政府の政策判断は常に一致するものではなく、政府の責任において政策が選択されることを改めて確認したい。今後は政府の指揮系統が統括庁とJIHSにより取りまとめられることとなる。日医への協力要請に応じ、新たな会議体に全力で参画したいと考えている。

日医は平時から厚生労働省の感染症部会などに構成員として参画し、予防接種や感染症危機管理に関する審議会で意見を述べる立場にある。医療現場のリアルタイムな状況を把握しやすい立場にあり、新型コロナ対策でも役割を担うことができた。平時における発言を通じて、審議会の他の構成員や担当省庁の信頼を得ることが極めて重要だ。

さまざまな手段を駆使して直接国民に必要な情報を届けるとともに、さまざまなレベルで政府や国会議員に医療現場からの声を速やかに伝え、政策判断に生かされるよう引き続き全力で取り組みたい。 【禹満代議員（京都）の代表質問に対する答弁】

■ 認知症施策の推進、かかりつけ医の役割も重要

江澤常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】共生社会の実現を推進するための認知症基本法が昨年1月に施行され、同年12月には政府の認知症施策推進基本計画が閣議決定された。地域共生社会を実現するツールである地域包括ケアの本質は地域づくりであり、地域の一員であるかかりつけ医の果たす役割も重要となる。

最近では地域ケア会議への医師の参画や、医療機関での認知症カフェなどの取り組みが増えている。日医・地域包括ケア推進委員会の前期の報告書でも、多くの好事例を発信した。引き続き、厚生労働省の担当部局など関係者と連携し、認知症施策をはじめとする共生社会に実現に向けて尽力していく。

抗アミロイドβ抗体薬に関しては、産業医が若年性認知症の就労支援に際し、主治医や事業所と連携して就業上の必要な措置を講じていくためにも、日医認定産業医の研修会などを通じて、本治療の情報を的確に発信できるよう随時検討していく。

認知症疾患医療センターが本来の役割を果たしていないというご指摘については、実績報告の見える化や、新規・更新の認定を行う都道府県協議会の役割も重要と考える。不適切な事例などがあれば、日医に一報をいただきたい。センターの質の向上は、引き続き厚労省などと協議していく。【丸木雄一代議員（埼玉）の代表質問に対する答弁】

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

■ 働き方改革、地域医療への影響「今後も調査」 濱口常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】医師の働き方改革による地域の医療提供体制への影響については、2024年4月の制度開始前と後に調査を行い、地域医療への影響の状況把握に努めてきた。結果として、調査時点では、制度開始前に各医療機関が想定したほど地域医療への影響は大きくなかったが、各地域の医療体制への影響や問題点が今後、どのように変化していくかは注意深く確認する必要がある。

日医では地域医療への影響を可能な限り把握するため、今後とも継続的に同様の調査を行う。

一方、地域の具体的な医療事情は都道府県医師会、都市区医師会が最もタイムリーに把握されるだろう。その情報を日医に届けていただければ、問題点の解決等を国に要望していく。

開業医や病医院の管理者へのサポートについては、まずは窓口相談として、都道府県の医療勤務環境改善支援センターを活用していただければと考えているが、日医としても何らかの体制が取れないか、検討したい。

今後も医師の働き方改革に関する情報について、適宜、医療機関勤務環境評価センターのホームページなどを通じて医療機関に提供していく。

【中島均代議員（鹿児島）の代表質問に対する答弁】

■ 看護師等養成所、「サテライト構想」の支援要請へ 黒瀬常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】医師会立看護師等養成所が深刻な危機的状況に陥っていることを強く懸念している。他方、地域に根ざした医師の活動を支える重要な施設として、養成所がこれから地域医療、地域包括ケアに果たす役割は決して小さくない。医療・介護は地域経済活動の大切な構成要素でもあるため、これを担う人材の養成・確保は地方行政にとっても喫緊の課題といえる。

日医の医療関係者検討委員会が提案した「サテライト構想」の趣旨は、学生の地元定着と養成所の人的・経済的な負担軽減の両立にある。厚生労働省からは、本提案の趣旨を理解した上で、人員や設備などの必要条件を満たせば本方式の実現は可能、との回答を得ている。

養成所の指定権限は都道府県に移譲されており、担当行政との協議が極めて重要である。中でも運営費に対する補助金に関して、サテライト化した場合に1校分と扱われるという点が大きな障壁となっている。

本会としても、行政と協働可能なモデルの検討を行うとともに、厚労省などの関係省庁、地方自治体、関連団体に対して、丁寧かつ強力に支援を要請していく。

【森俊明代議員（徳島）の代表質問に対する答弁】

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

■ 学校の災害共済給付、文書は「無料」維持

松岡常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】(医療機関が)学校に提出する文書は、3種類に大別される。1つ目として登校許可証には、文書料や学校の種別などの決まりはない。2つ目に、食物アレルギーや医療的ケア児などの児童・生徒の情報を提供する文書は、診療情報提供料(1)として保険適用が可能だ。

3つ目に、今回のご質問にある、災害共済給付制度の補償を受けるために必要な文書がある。この制度は、日本学校安全会により1960年度から始まった。

この文書の料金を徴収すると、「学校の管理下の事故ならば、学校の負担ではないか」という保護者の訴えなど、保護者と学校のトラブルが考えられ、医療機関も巻き込まれる可能性がある。当時の文部省からの協力要請もあり、日医は、子どもの健康と幸福のために無料にすることとし、都道府県医に60年に通知を発出した。

日本学校安全会の業務は、現在、日本スポーツ振興センター(JSC)が担う。この制度は(通知の)発出から60年以上たち、取り扱いは学校や保護者にも定着している。

改めて文書を発出するとなれば、JSCを所管することも家庭庁、学校を所管する文部科学省が関係する国レベルの話となる。発出した当時の考えを尊重し、現状を維持していただくよう、よろしくお願ひする。【橋爪英二代議員(山形)の代表質問に対する答弁】

■ ARIサーベイ、負担軽減へ今後も協議

笠本常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】感染症のパンデミックは平時からの備えが何よりも重要。重篤な被害をもたらす新興感染症の多くは呼吸器症状を呈することから、急性呼吸器感染症(ARI)の立ち上がりなどをデータとして把握することが必要だ。

今年4月7日からARIが感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点サーベイランスの対象となる。いわゆる「風邪症状」が含まれる点について、多くの定点医療機関の負担となることが懸念されているのは指摘の通り。日医は厚生労働省と協議を重ね、報告の様式を改定した。ARIの集計については単独の項目とし、5歳刻みの簡易様式に変更した。感染症の把握・防止に向け、医療現場の負担を軽減しつつ柔軟性のある制度となるよう今後も協議したい。

定点医療機関の減少と統合は、諸外国の設置状況との比較などを考慮し決定された。厚労省は、定点減少によりデータの信頼性は失われないと説明している。医療機関の負担と併せて、正確な感染状況のデータ把握の担保について引き続き注視したい。

小児・妊婦に必要なワクチンの定期接種化の提案は大変重要だ。ワクチンにより防止できる疾患が増えるよう、国における議論で機を捉えて発言していく。

【河野幸治代議員(大分)の代表質問に対する答弁】

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

■ 学校医不足、環境整備へ「継続して対処」

渡辺常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】開業医の高齢化も問題になっており、新たな学校医のなり手が少ないといわれる状況では、今後、勤務医への依存度が高まることが想定される。しかし、現時点では、勤務医が学校健康診断に出務する環境が整っているとは言えない状況だ。勤務医が勤務時間内に学校健診に出務する場合、兼業の問題と移動や健診に対する補償の問題がある。

兼業に関して複数の病院管理者らに就業状況を確認したところ、病院ごとにさまざまな課題があることが分かった。日医は昨年から厚生労働省、文部科学省などと、個人の権利である有給休暇を利用するのではなく、業務として出務するにはどうすればよいかなどについて協議している。

病院の指示で出務した場合は労災保険が担保されるが、有給休暇を取得して出務した場合は労災補償がない。こうした労災や賠償保険の手当は環境整備の一つで、検討の余地がある。

勤務医の兼業に道が開けても、学校医活動をはじめとした医師会のがかりつけ医活動のどこを担ってもらうのかというバランスの問題もある。非常に重要な問題で、継続して対処したい。

【野中雅代議員（北海道）の代表質問に対する答弁】

MEDIFAXの記事を発行元の了承なく、転送・転載、翻訳、複写そのほかの複製、及びデータ使用等をすることを禁止しています。無断で行った場合、損害賠償や著作権法の罰則の対象になる場合があります。

お問い合わせ 報道(記事の内容) : 03-3233-6351 / 販売(再送信・落丁・契約変更) : 03-3233-6336

★最新ニュースを随時更新中★ **MEDIFAXweb** <https://mf.jiho.jp/> メディファクス 検索

桃木常任

都市医師会別医師会員数（令和7年4月1日現在）

ならびに会員異動（3月分）について

（1）都市医師会別医師会員数（別紙）

（2）令和7年3月1日～3月31日までの、入会・退会・異動にかかる報告。（内訳は別紙）

今回報告数	・・・・・	212名
入会	・・・・・	38名
退会	・・・・・	106名（死亡 7名）
異動	・・・・・	68名

都市医師会別医師会員数(令和7年4月1日現在)

都市医師会	A1	A2B	B	A2C	C	合計
浦和医師会	324	121	151	6	32	634
川口市医師会	265	56	160	10	24	515
大宮医師会	291	94	232	17	75	709
川越市医師会	177	41	95	0	0	313
熊谷市医師会	118	28	86	0	12	244
行田市医師会	25	7	23	6	0	61
所沢市医師会	178	72	103	0	0	353
蕨戸田市医師会	114	22	51	8	1	196
北足立都市医師会	145	45	96	0	16	302
上尾市医師会	88	15	58	0	18	179
朝霞地区医師会	193	42	103	19	14	371
草加八潮医師会	144	19	45	0	12	220
さいたま市与野医師会	70	34	41	20	1	166
入間地区医師会	73	20	41	0	0	134
飯能地区医師会	58	15	45	0	0	118
東入間医師会	126	42	45	0	0	213
坂戸鶴ヶ島医師会	90	25	23	0	0	138
狭山市医師会	60	19	54	0	13	146
比企医師会	114	24	60	0	0	198
秩父都市医師会	71	28	17	0	0	116
本庄市児玉郡医師会	74	32	40	0	0	146
深谷寄居医師会	94	45	49	7	9	204
北埼玉医師会	73	24	19	4	20	140
南埼玉郡市医師会	137	49	60	0	12	258
越谷市医師会	145	98	225	53	13	534
春日部市医師会	103	40	97	0	17	257
岩槻医師会	49	17	45	0	0	111
北葛北部医師会	39	10	15	0	0	64
吉川松伏医師会	40	5	37	0	0	82
三郷市医師会	58	14	28	0	0	100
埼玉医科大学医師会	4	26	224	4	160	418
防衛医科大学校医師会	1	15	17	0	0	33
＊＊＊ 総計 ＊＊＊	3,541	1,144	2,385	154	449	7,673
前月比	3	41	-34	-50	-28	-68

【埼玉県医師会会員区分】

{ A会員:日本医師会A1
 B会員:日本医師会A2B・B
 B特会員:日本医師会A2B・B【大学医師会会員】
 C会員:日本医師会A2C・C

埼玉県医師会員入会・退会異動報告書

令7.3.1～令7.3.31

令和7年4月1日報告

No.1

日本医師会用

年月日	変更区分 会員種別	変更事由1 変更事由2	変更事由3 変更事由4	変更事由5 変更事由6	診療科目	氏名	郵便番号	住所	医療機関	電話番号 FAX番号	備考
所属医師会											
浦和医師会	7/3/31 退会 C → 退会	医師会の異動			研修	幼ノコミ 高野 言深	336-8522 336-8522	さいたま市緑区大字三室2460 さいたま市緑区大字三室2460	さいたま市立病院 さいたま市立病院	048-873-4111 048-873-5451	
浦和医師会	7/3/31 退会 C → 退会	退職			研修	カタオカ ケンスケ 片岡 賢佑	336-8522 336-8522	さいたま市緑区大字三室2460 さいたま市緑区大字三室2460	さいたま市立病院 さいたま市立病院	048-873-4111 048-873-5451	
浦和医師会	7/3/31 退会 C → 退会	その他			研修	ツチヤリヨウスケ 土屋 了介	336-8522 336-8522	さいたま市緑区大字三室2460 さいたま市緑区大字三室2460	さいたま市立病院 さいたま市立病院	048-873-4111 048-873-5451	転勤
浦和医師会	7/3/31 退会 A2B → 退会	医師会の異動			他	イチワタトオ 一和多 俊男	330-0061 330-0061	さいたま市浦和区常盤6-4-18 さいたま市浦和区常盤6-4-18	社団法人浦和医師会 メディカルセンター	048-824-6811 048-833-6739	
浦和医師会	7/3/31 退会 A2B → 退会	退職			内 脳内	オノ サヤカ 小野 さやか	336-0918 336-0918	さいたま市緑区松木3-16-6 さいたま市緑区松木3-16-6	医)明医研 ハーモニークリニック	048-875-7888 048-875-7885	
浦和医師会	7/3/31 退会 B → 退会	退職			内	アサカワリナ 浅川 利奈	336-0042 336-0042	さいたま市南区大谷口5320-1 さいたま市南区大谷口5320-1	医)仁学会 里村クリニック	048-874-4747 048-874-4783	
浦和医師会	7/4/1 入会 → A1				内 消内	イナダ ユウジ 稻田 宥治	336-0022 18-19 5F	埼玉県さいたま市南区白幡5丁目 18-19 5F	医)仁学会 里村消化器内科・胃と大腸内視鏡クリニック	048-864-0600 048-864-0611	
浦和医師会	7/4/1 異動 C → A2B	施設異動 会員区分変更			研修	タカカタカヨキ 田中 孝幸	336-8522 336-8522	さいたま市緑区大字三室2460 さいたま市立病院	さいたま市立病院	048-873-4111 048-873-5451	
浦和医師会	7/4/1 入会 → A1				形外 皮	ジミ ショウウロウ 自見 庄太郎	336-0967 338-0837	埼玉県さいたま市緑区美園4-10-1 シモンイースト美園1F	オーリーブ皮フ科・形成外科 医)社団松弘会		
浦和医師会	7/4/1 入会 → B				外 消外	クロサキ テツヤ 黒崎 哲也	338-0837 336-0025	さいたま市桜区田島4-35-17 さいたま市南区文蔵2-5-19	医)社団松弘会 三愛病院	048-866-1717 048-866-1865	
浦和医師会	7/4/1 入会 → B				眼	タカギ リナ 高木 理那	336-0025 330-0063	さいたま市南区文蔵2-5-19 埼玉県さいたま市浦和区高砂2丁目9-1	医)奏心会 とびた眼科	048-714-0255 048-714-0256	
浦和医師会	7/4/1 入会 → A1				内 消内	コバヤシ ミコ 小林 優子	330-0063 330-0063	埼玉県さいたま市浦和区高砂2丁目9-1 山口屋本店ビル3階	ミモザクリニック	048-767-7776 048-767-7716	
川口市医師会	7/2/6 退会 A1 → 退会	死亡			内 消内	カジマ アツシ 川嶋 淳	333-0802 333-0802	川口市戸塚東1-18-6 川口市戸塚東1-18-6	医)社団信和会 川嶋医院	048-295-0511 048-295-5895	
川口市医師会	7/2/28 退会 B → 退会	退職			外 精	ヒライ ヒサオ 平井 弥夫	333-0832 333-0832	川口市神戸258-2 川口サクララズ川口	医)社団桐和会 タムスさくらクリニック川口	048-271-9562 048-271-9652	
大宮医師会	7/1/21 入会 → A2B				内 循内	ジマ アスカ 三島 飛鳥	337-0051 337-0051	さいたま市見沼区東大宮2-58-10 さいたま市見沼区東大宮2-58-10	医)さくらクリニック	048-668-1222 048-668-1211	
大宮医師会	7/3/31 退会 A1 → 退会	退職			内 消内	コバヤシトナリ 小林 利成	330-0843 330-0843	さいたま市大宮区吉敷町4-262-8 新都心小林クリニック	一医)清流会 新都心小林クリニック	048-645-5884 048-645-5882	
大宮医師会	7/3/31 退会 A1 → 退会	退職			外 肝	クリハラ テルマサ 栗原 照昌	330-0804 331-0078	さいたま市大宮区城の内町2-173 さいたま市西区西大宮1-1-111階	医)社団双愛会 双愛クリニック	048-642-4130 048-642-8282	
大宮医師会	7/4/1 入会 → B				小	ハヤシ マコ 林 真貴子	331-0078 331-0078	さいたま市西区西大宮1-1-111階 さいたま市西区西大宮1-1-111階	医)愛和会 愛和病院附属西大宮小児科クリニック	048-788-8811 048-788-8812	
大宮医師会	7/4/1 異動 A1 → B	会員区分変更 管理者交代			小	フジタヒデオ 藤田 美寿	331-0078 331-0078	さいたま市西区西大宮1-1-111階 さいたま市西区西大宮1-1-111階	医)愛和会 愛和病院附属西大宮小児科クリニック	048-788-8811 048-788-8812	
大宮医師会	7/4/1 異動 B → A1	会員区分変更 管理者交代			小	ウエハ タマツ 上里 忠光	331-0078 331-0078	さいたま市西区西大宮1-1-111階 さいたま市西区西大宮1-1-111階	医)愛和会 愛和病院附属西大宮小児科クリニック	048-788-8811 048-788-8812	
大宮医師会	7/4/1 異動 B → A1	施設異動 会員区分変更	管理者交代		内	ヤギ ミチコ 八木 道子	330-0804 330-0804	さいたま市大宮区城の内町2-173 さいたま市大宮区城の内町2-173	医)社団双愛会 双愛クリニック	048-642-4130 048-642-8282	
大宮医師会	7/4/1 入会 → A2B				内 消内	コバヤシトナリ 小林 利成	330-0856 330-0856	さいたま市大宮区三橋1-1173 西大宮病院	医)明浩会 西大宮病院	048-644-0511 048-647-4876	
大宮医師会	7/4/1 異動 B → A1	会員区分変更 管理者交代			外 肝	シオヤ タケシ 塩谷 猛	331-0054 331-0054	さいたま市西区島根299-1 さいたま市民医療センター	医財)医財 さいたま市民医療センター	048-626-0011 048-799-5146	
大宮医師会	7/4/1 異動 A1 → B	会員区分変更 管理者交代			内 循内	モモラシシイチ 百村 伸	331-0054 331-0054	さいたま市西区島根299-1 さいたま市民医療センター	医財)医財 さいたま市民医療センター	048-626-0011 048-799-5146	
川越市医師会	7/2/16 退会 A2B → 退会	死亡			小	クロモ ノバール 黒森 信治	350-1102 350-1102	川越市西大宮1-6-30 黒森小児科クリニック		049-231-0751 049-231-0046	
川越市医師会	7/3/31 退会 B → 退会	医師会の異動			産 婦	イシグロトモヒト 石黒 共人	350-0001 350-0001	川越市古谷上983-1 愛和病院	医)愛和会 愛和病院	049-235-8811 049-235-8829	
川越市医師会	7/4/1 入会 → B				小	オカモヒサヨ 岡本 寿世	350-0001 350-0001	川越市古谷上983-1 愛和病院	医)愛和会 愛和病院	049-235-8811 049-235-8829	

埼玉県医師会員入会・退会異動報告書

令7.3.1～令7.3.31

令和7年4月1日報告

No.2

日本医師会用

年月日	変更区分	変更事由1	変更事由3	変更事由5	診療科目	氏名	郵便番号	住所	医療機関	電話番号 FAX番号	備考
所属医師会	会員種別	変更事由2	変更事由4	変更事由6							
川越市医師会	7/4/1 退会	退職			内	カガワセイ子	350-0809	川越市鶴井新田6-1	医)社団誠弘会	049-234-1411	
	B → 退会	医師会の異動				金川誠一		第3今泉ビル2階	鶴ヶ島駅前クリニック	049-234-1414	
熊谷市医師会	6/11/30 A1 → 退会	その他			内 外	ノスマツミ	360-0037	埼玉県熊谷市筑波2-48-1	医)あい友会	048-598-6584	人事異動 に伴い
						野末睦		熊谷大栄ビル2階	あい熊谷クリニック	048-501-5167	
熊谷市医師会	6/12/1 入会				内	カバシジン	360-0037	埼玉県熊谷市筑波2-48-1	医)あい友会	048-598-6584	
	→ A1					高橋純		熊谷大栄ビル2階	あい熊谷クリニック	048-501-5167	
行田市医師会	7/3/31 A2C → 退会	退職			研修	アオキシンゴ	361-0056	行田市持田376	医)社幸会	048-552-1111	
		医師会の異動				青木信悟			行田総合病院	048-553-2011	
行田市医師会	7/3/31 A2C → 退会	退会			研修	イタハシナコ	361-0056	行田市持田376	医)社幸会	048-552-1111	
						板橋奈菜子			行田総合病院	048-553-2011	
行田市医師会	7/3/31 A2C → 退会	退会			研修	カザワヒロキ	361-0056	行田市持田376	医)社幸会	048-552-1111	
						芹澤啓紀			行田総合病院	048-553-2011	
行田市医師会	7/2/14 → A2B	入会			内	カガクラユウキ	359-1106	所沢市東狭山ヶ丘4-2692-1	社医)至仁会	04-2920-0500	
						永倉悠揮			圈央所沢病院	04-2920-0501	
所沢市医師会	7/3/3 → A1	入会			消内	ヒタカスケル	359-0037	埼玉県所沢市くすのき台1-12-3		04-2997-9719	
						日高卓		holly grace1階		04-2997-9718	
所沢市医師会	7/3/31 A2B → 退会	退会	その他		内 消内	カウヤスピロ	359-1116	所沢市東町22-3		04-2922-2210	高齢のため
						工藤裕弘			所沢内科クリニック	04-2941-2024	
所沢市医師会	7/3/31 A1 → 退会	退会	退職		整外	マチダシンゴ	359-0044	所沢市松葉町4-22		04-2992-5873	
						町田良夫			町田整形外科医院	04-2992-5898	
所沢市医師会	7/3/31 C → 退会	退会	退職		研修	ミヨウスケ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
						三輪要介			戸田中央総合病院	048-442-1115	
蕨戸田市医師会	7/3/31 C → 退会	退会	退職		研修	マツダリョウマ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
						松田了磨			戸田中央総合病院	048-442-1115	
蕨戸田市医師会	7/3/31 C → 退会	退会	退職		研修	フジイタ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
						藤井拓			戸田中央総合病院	048-442-1115	
蕨戸田市医師会	7/3/31 C → 退会	退会	退職		研修	シマダアズサ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
						鶴田あすさ			戸田中央総合病院	048-442-1115	
蕨戸田市医師会	7/3/31 C → 退会	退会	退職		研修	オオカカリコ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
						遠坂理紗子			戸田中央総合病院	048-442-1115	
蕨戸田市医師会	7/3/31 C → 退会	退会	退職		研修	オカヤマナコ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
						奥山奈津子			戸田中央総合病院	048-442-1115	
蕨戸田市医師会	7/3/31 C → 退会	退会	退職		研修	イマタケセイ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
						今下慧星			戸田中央総合病院	048-442-1115	
蕨戸田市医師会	7/3/31 B → 退会	退会	医師会の異動		脳外 麻	キツキヒロシ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
						木附宏			戸田中央総合病院	048-442-1115	
蕨戸田市医師会	7/4/1 → A2B	入会			整外	サノサエ	272-0836	千葉県市川市北国分3-15-22			
						佐野栄					
蕨戸田市医師会	7/4/1 → A2B	入会			研修	オハヒロミ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
						小原寛史			戸田中央総合病院	048-442-1115	
蕨戸田市医師会	7/4/1 → B	入会			産 婦	イシグロトヒト	335-0022	戸田市上戸田2-26-3	医)社団東光会	048-444-1181	
						石黒共人			戸田中央産院	048-444-6993	
蕨戸田市医師会	7/3/31 B → 退会	退会	その他		産婦	イソリコ	364-8501	北本市荒井6-100	学校法人北里研究所 北里大学メティカルセンター	048-593-1212 048-593-1239	一身上の 都合
北足立都市医師会	7/3/31 B → 退会	退会	その他		内 糖内	オダサトシ	365-0038	鴻巣市本町3-5-21		048-540-0088	転勤
						磯野梨子			サンビレッジクリニック鴻巣	048-540-0085	
北足立都市医師会	7/3/31 B → 退会	退会	その他		形外	アドウユウキ	364-8501	北本市荒井6-100	学校法人北里研究所 北里大学メティカルセンター	048-593-1212 048-593-1239	一身上の 都合
						安藤優希			学校法人北里研究所 北里大学メティカルセンター	048-593-1212 048-593-1239	
北足立都市医師会	7/3/31 B → 退会	退会	その他		形外	トウリコ	364-8501	北本市荒井6-100	学校法人北里研究所 北里大学メティカルセンター	048-593-1212 048-593-1239	一身上の 都合
						伊藤里沙子			学校法人北里研究所 北里大学メティカルセンター	048-593-1212 048-593-1239	
北足立都市医師会	7/4/1 B → A1	異動	会員区分変更		小 糖内	コウノトモタ	365-0038	鴻巣市本町5-5-27		048-541-0146	
			管理者交代			河野智敬			河野小児科医院	048-541-0147	
北足立都市医師会	7/4/1 A1 → A2B	異動	会員区分変更		内 アレ	コウノヒコ	365-0038	鴻巣市本町5-5-27		048-541-0146	
			管理者交代			河野英智			河野小児科医院	048-541-0147	

埼玉県医師会員入会・退会異動報告書

令7.3.1～令7.3.31

令和7年4月1日報告

No.3

日本医師会用

年月日	変更区分	変更事由1	変更事由3	変更事由5	変更事由6	診療科目	氏名	郵便番号	住所	医療機関	電話番号 FAX番号	備考	
所属医師会	会員種別	変更事由2	変更事由4	変更事由5	変更事由6								
7/4/1	異動	施設異動				整外	ハシモト マサキ	365-0038	鴻巣市本町3-5-8		048-541-0914		
北足立都市医師会	A1 → A2B	会員区分変更				内	橋本 昌明	362-0034	上尾市愛宕2-4-1	みだ眼科周行医院	048-501-5767		
6/12/23	退会	死亡				皮	ナカムラ カツヤ	362-0074	上尾市春日2-24-1		048-774-8262		
上尾市医師会	B → 退会					内	中村 勝也				048-774-8262		
7/4/1	異動	会員区分変更				皮	タリハラ ミツリ	362-0074	上尾市春日2-24-1		048-778-0678		
上尾市医師会	A1 → B	廃業B				内	栗原 みどり	351-0011	朝霞市本町1-34-1	みどり皮フ科クリニック	048-774-0777		
7/3/1	異動	会員区分変更				内	サカモト ケイ	352-0001	坂本 伸	医)五ヶ会	048-424-7301		
朝霞地区医師会	A2B → A1					内	オハラ ヒロミ	352-0001	新座市東北1-7-2	まちだ訪問クリニック	048-424-7302		
7/3/31	退会	医師会の異動				研修	小原 寛史	351-0102	和光市諏訪2-1	医)社団武蔵野会	048-474-7211		
朝霞地区医師会	A2C → 退会					内	松永 洋一	352-0003	新座市北野2-14-8	新座志木中央総合病院	048-472-7581		
7/3/31	退会	医師会の異動				内	タマザワ テツヤ	352-0003	タマザワ テツヤ	独行法)国立病院機構	048-462-1101		
朝霞地区医師会	A2B → 退会					内	玉澤 哲哉	352-0003	玉澤 哲哉	埼玉病院	048-464-1138		
7/3/31	退会	退職				内	井上 亮	352-0003	井上 亮	医)昭仁会	048-481-1621		
朝霞地区医師会	B → 退会					内	マツナガ ヒロズ	352-0003	マツナガ ヒロズ	北野病院	048-481-3235		
7/3/31	退会	その他				内	イワサキ ヤスコ	353-0004	志木市本町6-3-9	医)イワサキ ヤスコ	048-474-7474		
朝霞地区医師会	B → 退会					内	岩崎 泰子	351-0033	岩崎 泰子	岩崎小児科医院	048-473-2326		
7/3/31	退会	退職				小	ササキ ミチコ	351-0033	ササキ ミチコ	朝霞市浜崎1-2-10	048-476-3002		
朝霞地区医師会	B → 退会					内	佐々木 道子	352-0003	佐々木 道子	アゴラ21ビル6階	北朝霞・朝霞台えきまえ	048-476-3665	
7/4/1	入会					眼	イケウエ アキラ	352-0011	イケウエ アキラ	医)社団豊栄会	048-479-1313		
朝霞地区医師会	→ A1					内	井上 亮	351-0023	井上 亮	中島眼科	048-479-1303		
7/4/1	入会					泌	マジタ カスヒト	351-0023	マジタ カスヒト	医)社団武蔵野会	048-466-2055		
朝霞地区医師会	→ B					内	松下 一仁	352-0022	松下 一仁	TMGあさか医療センター	048-466-2059		
7/4/1	異動	会員区分変更				内	ミハラ ユウコ	352-0022	ミハラ ユウコ	医)社団	048-483-2222		
朝霞地区医師会	B → A1	管理者交代				内	三原 結子	352-0022	三原 結子	堺ノ内クリニック	048-483-2221		
7/4/1	異動	会員区分変更				内	キムラ モコ	352-0022	キムラ モコ	医)社団	048-483-2222		
朝霞地区医師会	A1 → A2B	管理者交代				内	木村 素子	352-0022	木村 素子	堺ノ内クリニック	048-483-2221		
7/4/1	入会					内	ヤマモト ケンイチロウ	340-0041	ヤマモト ケンイチロウ	埼玉県草加市松原2-1-3	0489-60-0634		
草加八潮医師会	→ A1					内	山本 健一郎	340-0041	山本 健一郎	SAIYU 5th VILLAGE 3階	草加松原 消化器・内視鏡クリニック	0489-60-0635	
7/3/31	退会	医師会の異動				循内	ホカワ カイセイ	330-8553	ホカワ カイセイ	さいたま市中央区新都心1-5	048-852-1111		
さいたま市与野医師会	A2C → 退会					内	細川 凱生	330-8553	細川 凱生	さいたま赤十字病院	048-852-3120		
7/3/31	退会	その他				研修	ウダガワ レナ	330-8553	ウダガワ レナ	さいたま市中央区新都心1-5	048-852-1111		
さいたま市与野医師会	A2C → 退会					内	宇田川 礼奈	330-8553	宇田川 礼奈	さいたま赤十字病院	048-852-3120		
7/3/31	退会	その他				研修	コバヤシ マサナ	330-8553	コバヤシ マサナ	さいたま市中央区新都心1-5	048-852-1111		
さいたま市与野医師会	A2C → 退会					内	小林 正直	330-8553	小林 正直	さいたま赤十字病院	048-852-3120	異動のため	
7/3/31	退会	医師会の異動				研修	ヤマガチ マキ	330-8553	ヤマガチ マキ	さいたま市中央区新都心1-5	048-852-1111		
さいたま市与野医師会	A2C → 退会					内	山口 真輝	330-8553	山口 真輝	さいたま赤十字病院	048-852-3120		
7/3/31	退会	医師会の異動				整外	イシケン	330-8553	イシケン	さいたま市中央区新都心1-5	048-852-1111		
さいたま市与野医師会	B → 退会					内	石井 研史	330-8553	石井 研史	さいたま赤十字病院	048-852-3120		
7/3/31	退会	退職				小	ハマノシシイチロウ	330-8777	ハマノシシイチロウ	さいたま市中央区新都心1-2	048-601-2200		
さいたま市与野医師会	B → 退会					内	瀬野 晋一郎	330-8777	瀬野 晋一郎	埼玉県立小児医療センター	048-601-2201		
7/4/1	異動	会員区分変更				研修	オノ ユウジ	330-8553	オノ ユウジ	さいたま市中央区新都心1-5	048-852-1111		
さいたま市与野医師会	A2C → A2B					内	小野 栄司	330-8553	小野 栄司	さいたま赤十字病院	048-852-3120		
7/4/1	異動	会員区分変更				循内	サトウ レン	330-8553	サトウ レン	さいたま市中央区新都心1-5	048-852-1111		
さいたま市与野医師会	A2C → A2B					内	佐藤 達	330-8553	佐藤 達	さいたま赤十字病院	048-852-3120		
7/4/1	異動	会員区分変更				研修	タカハシ カホ	330-8553	タカハシ カホ	さいたま市中央区新都心1-5	048-852-1111		
さいたま市与野医師会	A2C → A2B					内	高橋 香帆	330-8553	高橋 香帆	さいたま赤十字病院	048-852-3120		
7/4/1	異動	会員区分変更				研修	テバリ ユウジ	330-8553	テバリ ユウジ	さいたま市中央区新都心1-5	048-852-1111		
さいたま市与野医師会	A2C → A2B					内	出張 優士	330-8553	出張 優士	さいたま赤十字病院	048-852-3120		
7/2/17	退会	死亡				小	カソウ クララ	357-0032	カソウ クララ	一医)	042-972-2440		
飯能地区医師会	A1 → 退会					内	神野 クララ	357-0032	神野 クララ	本町診療所	042-972-5556		
7/4/1	入会					小	モリワキ コウイチ	357-0065	モリワキ コウイチ	一社)夢工房	042-980-5372		
飯能地区医師会	→ A1					内	森脇 浩一	357-0065	森脇 浩一	こどものクリニック つむぎ	042-980-5374		
7/4/1	入会					婦	キノタ ユウタ	350-1245	キノタ ユウタ	一医)社団輔正会	042-986-1110		
飯能地区医師会	→ A2B					内	木下 優太	350-1245	木下 優太	岡村記念クリニック	042-986-1130		

埼玉県医師会員入会・退会異動報告書

令7.3.1～令7.3.31

令和7年4月1日報告

No.4

日本医師会用

年月日	変更区分	変更事由1	変更事由3	変更事由5	診療科目	氏名	郵便番号	住所	医療機関	電話番号	FAX番号	備考
所属医師会	会員種別	変更事由2	変更事由4	変更事由6								
7/2/21	退会	死亡			全	シノダ タケシ	354-0024	富士見市鶴瀬東1-8-19	医)一樹会	049-251-0200		
東入間医師会	A1 → 退会				内 小	篠田 翼	354-0024	富士見市鶴瀬東1-8-19	篠田中央クリニック	049-255-4412		
7/2/22	異動	会員区分変更			内 小	シノダ マリコ	354-0024	富士見市鶴瀬東1-8-19	医)一樹会	049-251-0200		
東入間医師会	B → A1	管理者交代			内 小	篠田 真理子			篠田中央クリニック	049-255-4412		
7/3/31	退会	その他			脳外	サキナチ カオ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060		病院の決定のため
東入間医師会	B → 退会				脳内	鶴内 隆雄			イムス富士見総合病院	049-254-1224		
7/3/31	退会	その他			産婦	オノヨシヒサ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060		病院の決定のため
東入間医師会	B → 退会				内 脳内	小野 義久			イムス富士見総合病院	049-254-1224		
7/3/31	退会	その他			内 脳内	タヤマ ヨウスケ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060		病院の決定のため
東入間医師会	B → 退会				内 脳内	田山 陽賀			イムス富士見総合病院	049-254-1224		
7/3/31	退会	その他			内	ナカヒテオ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060		病院の決定のため
東入間医師会	B → 退会				内	中 秀雄			イムス富士見総合病院	049-254-1224		
7/3/31	退会	その他			小	ネキシ ジュン	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060		病院の決定のため
東入間医師会	B → 退会				小	根岸 潤			イムス富士見総合病院	049-254-1224		
7/3/31	退会	その他			麻	アガミ ヒトシ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060		病院の決定のため
東入間医師会	B → 退会				麻	赤嶺 齊			イムス富士見総合病院	049-254-1224		
7/3/31	退会	その他			外 消外	ブジノ ケイ子	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060		病院の決定のため
東入間医師会	B → 退会				外 消外	藤野 啓一			イムス富士見総合病院	049-254-1224		
7/3/31	退会	その他			放	ミスコシ ウカ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060		病院の決定のため
東入間医師会	B → 退会				放	水越 和歌			イムス富士見総合病院	049-254-1224		
7/3/31	退会	その他			循外	カズノ ケイ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060		病院の決定のため
東入間医師会	B → 退会				循外	数野 圭			イムス富士見総合病院	049-254-1224		
7/3/31	退会	その他			循外	トウカラ タカユキ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060		病院の決定のため
東入間医師会	B → 退会				循外	東原 宣之			イムス富士見総合病院	049-254-1224		
7/3/31	退会	その他			外 小外	フルヤ タケシ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060		病院の決定のため
東入間医師会	B → 退会				外 小外	古屋 武史			イムス富士見総合病院	049-254-1224		
7/3/31	退会	その他			内 糖内	サトウ シゲアツ	350-0275	坂戸市伊豆の山町22-10	医)財団明理会	049-251-3060		病院の決定のため
坂戸鶴ヶ島医師会	A1 → 退会				内 糖内	斎藤 重信			さいとう内科クリニック	049-289-8787		休調不良等
7/3/31	退会	その他			内 糖内	ムラミ トオル	350-0272	坂戸市末広町6-9	社会医)社団 新都市医療研究会	049-227-9399		
坂戸鶴ヶ島医師会	A1 → 退会				内 糖内	村上 敏			関越腎クリニック	049-227-9820		勤務先変更の為
7/3/31	退会	退職			消内	サガラ シゲコ	350-2204	鶴ヶ島市鶴ヶ丘71-8	一医)充仁会	049-285-6511		
坂戸鶴ヶ島医師会	B → 退会				消内	相良 重子			たきがわクリニック			
7/4/1	異動	会員区分変更	廃業B		消内	サガラ マサコ	350-2204	鶴ヶ島市鶴ヶ丘71-8	一医)充仁会	049-285-6511		
坂戸鶴ヶ島医師会	A1 → B	管理者交代			消内	相良 正彦			たきがわクリニック			
7/4/1	異動	会員区分変更			外 肝	タキガワ ドミチ	350-2204	鶴ヶ島市鶴ヶ丘71-8	一医)充仁会	049-285-6511		
坂戸鶴ヶ島医師会	B → A1				消外	滝川 利通			たきがわクリニック			
7/4/1	入会				内	かがわ シエイ	350-0272	坂戸市末広町6-9	社会医)社団 新都市医療研究会	049-227-9399		
坂戸鶴ヶ島医師会	→ A1				内	金川 誠一			関越腎クリニック	049-227-9820		
7/4/1	異動	会員区分変更			内	カワノ ノボル	350-2203	鶴ヶ島市上広谷17-14	川野医院	049-285-1530		
坂戸鶴ヶ島医師会	A2B → B				内	川野 昇			049-286-0116			
7/1/26	退会	死亡			内 消内	ハヤカワトミ子	350-1317	狭山市大字水野600	医)尚寿会	04-2957-1141		
狭山市医師会	B → 退会				内 消内	早川 富雄			狭山尚寿会病院	04-2957-1146		
7/3/31	退会	その他			研修	ニシベ アキラ	350-1305	狭山市入間川2-37-20	社医)財団石心会	04-2953-6611		一身上の都合
狭山市医師会	C → 退会				研修	西部 輝			埼玉石心会病院	04-2953-8040		
7/4/1	退会	医師会の異動			内 循内	岩崎 司	350-1305	狭山市入間川2-37-20	社医)財団石心会	04-2953-6611		
狭山市医師会	B → 退会				内 循内	イサキ シカサ			埼玉石心会病院	04-2953-8040		
6/12/1	異動	会員区分変更			呼内 消内	サイマサヤ	355-0317	比企郡小川町原川205	医)社団宏仁会	0493-73-2750		
比企医師会	B → A1				呼内	リハ 崔 正哉			小川病院	0493-72-5192		
7/3/31	退会	退職			内 精	サトウ コウヘイ	355-0021	東松山市神明町2-16-15	医)社団ケア・トラスト	0493-81-6375		
比企医師会	B → 退会				内 泌	齊藤 航平			東松山在宅診療所	0493-81-6376		
7/3/31	退会	退職			内	イイヅカ マコミ	355-0328	比企郡小川町大塚86	医)慶愛会	0493-72-0362		
比企医師会	A1 → 退会				内	飯塚 真弓			原医院	0493-72-0362		
7/4/1	異動	会員区分変更			外 研修	ノサキ アキ子	355-0227	比企郡嵐山町千手堂693	医)野崎クリニック	0493-61-1810		
比企医師会	A2C → A2B				外 研修	野崎 啓達			野崎クリニック	0493-61-1820		

埼玉県医師会員入会・退会異動報告書

令7.3.1～令7.3.31

令和7年4月1日報告

No.5

日本医師会用

年月日	変更区分 会員種別	変更事由1 変更事由2	変更事由3 変更事由4	変更事由5 変更事由6	診療科目	氏名	郵便番号	住所	医療機関	電話番号	備考
										FAX番号	
所属医師会	7/4/1	入会			内	コイワイユウタ	350-0158	比企郡川島町大字伊豆96-1	医)啓仁会	049-297-8783	
										049-297-8746	
比企医師会	7/4/1	異動	会員区分変更		内	小岩井 悠太	355-0064	東松山市毛塚910-1	川島クリニック	0493-35-1830	
										0493-35-1118	
比企医師会	7/4/1	異動	会員区分変更	管理者交代	外	山本 梢	355-0064	東松山市毛塚910-1	笠原クリニック	0493-35-1830	
										0493-35-1118	
比企医師会	7/4/1	異動	会員区分変更	A1 → A2B	皮	猪野 裕英	355-0064	東松山市毛塚910-1	笠原クリニック	0493-35-1830	
										0493-35-1118	
本庄市児玉郡医師会	7/1/16	退会	退職		内	ホノマタツジ	367-0044	本庄市見福3-5-6	一医)真誠会	0495-27-6360	
										0495-27-6370	
本庄市児玉郡医師会	7/3/31	退会	退職		循内	本間 達志	367-0063	本庄市下野堂1-13-27	本間内科皮膚科クリニック	0495-24-3005	
										0495-24-3007	
本庄市児玉郡医師会	7/4/1	入会			小	橋本 良明	366-0033	深谷市国濟寺408-5	医)良仁会	048-571-1171	
										048-574-1756	
本庄市児玉郡医師会	7/4/1	入会		→ A2B	外	宮川 千弘	367-0031	木庄市北堀1780	医)本庄福島病院	0495-22-6111	
										0495-24-5785	
本庄市児玉郡医師会	7/4/1	入会		→ B	循内	重原 健吾	367-0022	本庄市日の出3-7-26	医)中村会	0495-21-6211	
										0495-22-3135	
深谷寄居医師会	7/3/31	退会	退職		産婦	マツモト チエコ	366-0052	深谷市上柴町西5-8-1	深谷赤十字病院	048-571-1511	
										048-573-5351	
深谷寄居医師会	7/4/1	異動	会員区分変更		研修	ボタクショウハイ	366-0052	深谷市上柴町西5-8-1	深谷赤十字病院	048-571-1511	
										048-573-5351	
深谷寄居医師会	7/4/1	異動	施設異動		精	イシダ ヒサシ	369-1246	深谷市小前田628-11	医)社団かんな会	048-577-8401	
										048-577-8402	
深谷寄居医師会	7/4/1	異動	会員区分変更	勤務先	外	石田 尚	366-0052	深谷市上柴町西5-8-1	深谷赤十字病院	048-571-1511	
										048-573-5351	
深谷寄居医師会	7/4/1	異動	会員区分変更	A1 → B	研修	トウヒロシ	366-0052	深谷市上柴町西5-8-1	深谷赤十字病院	048-571-1511	
										048-573-5351	
深谷寄居医師会	7/4/1	異動	会員区分変更	→ A2B	外	伊藤 博	366-0052	深谷市上柴町西5-8-1	深谷赤十字病院	048-571-1511	
										048-573-5351	
深谷寄居医師会	7/4/1	入会		→ A1	産婦	シカワ フミコ	366-0052	深谷市上柴町西5-8-1	深谷赤十字病院	048-571-1511	
										048-573-5351	
深谷寄居医師会	7/4/1	入会		→ B	産婦	スズキ ナガスミ	366-0052	深谷市上柴町西5-8-1	深谷赤十字病院	048-571-1511	
										048-573-5351	
深谷寄居医師会	7/4/1	入会		→ B	消内	鈴木 永純	366-0052	深谷市上柴町西5-8-1	深谷赤十字病院	048-571-1511	
										048-573-5351	
深谷寄居医師会	7/3/31	退会	退職		研修	須賀 政裕	346-8530	久喜市上早見418-1	深谷赤十字病院	048-571-1511	
										048-573-5351	
南埼玉都市医師会	7/3/31	退会	退職		研修	坂本 竜胡	346-8530	久喜市上早見418-1	医)社団埼玉巨樹の会	0480-26-0033	
										0480-44-8026	
南埼玉都市医師会	7/3/31	退会	退職		循内	マエコチ ダイスケ	346-8530	久喜市上早見418-1	医)社団埼玉巨樹の会	0480-26-0033	
										0480-44-8026	
南埼玉都市医師会	7/3/31	退会	退職		研修	前淵 大輔	346-8530	久喜市上早見418-1	新久喜総合病院	0480-26-0033	
										0480-44-8026	
南埼玉都市医師会	7/3/31	退会	退職		研修	ニシメリョウ	346-8530	久喜市上早見418-1	新久喜総合病院	0480-44-8026	
										0480-44-8026	
南埼玉都市医師会	7/3/31	退会	退職		研修	西銘 亮	346-8530	久喜市上早見418-1	医)社団埼玉巨樹の会	0480-26-0033	
										0480-44-8026	
南埼玉都市医師会	7/3/31	退会	退職		研修	ヤマモト カンタ	346-8530	久喜市上早見418-1	医)社団埼玉巨樹の会	0480-26-0033	
										0480-44-8026	
南埼玉都市医師会	7/3/31	退会	退職		研修	山元 幹太	346-8530	久喜市上早見418-1	新久喜総合病院	0480-26-0033	
										0480-44-8026	
南埼玉都市医師会	7/3/31	退会	退職		研修	能美 模之介	346-8530	久喜市上早見418-1	医)社団埼玉巨樹の会	0480-26-0033	
										0480-44-8026	
南埼玉都市医師会	7/3/31	退会	退職		研修	クホタ カイ	346-8530	久喜市上早見418-1	医)社団埼玉巨樹の会	0480-26-0033	
										0480-44-8026	
南埼玉都市医師会	7/3/31	退会	退職		研修	久保田 魁	346-8530	久喜市上早見418-1	新久喜総合病院	0480-26-0033	
										0480-44-8026	
南埼玉都市医師会	7/3/31	退会	退職		研修	甲斐 久徳	346-8530	久喜市上早見418-1	医)社団埼玉巨樹の会	0480-26-0033	

埼玉県医師会々員入会・退会異動報告書

令7.3.1～令7.3.31

令和7年4月1日報告

No.6

日本医師会用

年月日	変更区分	変更事由1	変更事由3	変更事由5	診療科目	氏名	郵便番号	住所	医療機関	電話番号 FAX番号	備考
所属医師会	会員種別	変更事由2	変更事由4	変更事由6							
越谷市医師会	7/3/31	退会	退職		消化	ササキ・ジン	343-8577	越谷市東越谷10-32		048-965-2221	
越谷市医師会	B → 退会					佐々木 淳			越谷市立病院	048-965-3019	
越谷市医師会	7/3/31	退会	医師会の異動		研修	ツジ・リサコ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	C → 退会					辻 理彩子			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/3/31	退会	退職		研修	オカダ・リサ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → 退会					岡田 理沙			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/3/31	退会	医師会の異動		研修	外ウ・ヨウカウ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → 退会					工藤 遼太郎			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/3/31	退会	退職		研修	ワタナベ・コウイチロウ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → 退会					渡邊 耕一郎			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/3/31	退会	退職		産婦	仆ガトモコ	343-8577	越谷市東越谷10-32		048-965-2221	
越谷市医師会	B → 退会					糸賀 知子			越谷市立病院	048-965-3019	
越谷市医師会	7/3/31	退会	退職		泌	オカダ・ヒロシ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	B → 退会					岡田 弘			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/3/31	退会	その他		研修	アリガ・ヒロ	343-8577	越谷市東越谷10-32		048-965-2221	
越谷市医師会	C → 退会					有賀 大穂			越谷市立病院	048-965-3019	
越谷市医師会	7/3/31	退会	その他		呼内	アレ	343-0856	越谷市谷中町4-25-5	医)社団協友会	048-966-2711	不要なため
越谷市医師会	B → 退会					佐藤 構造			越谷誠和病院	048-966-5016	
越谷市医師会	7/3/31	退会	退職		整外	ムラカミ・ケイジ	343-0851	越谷市七左町1-304-1	医)健身会	048-990-0777	
越谷市医師会	A2B → 退会					村上 実二			南越谷健身会クリニック	048-990-0771	
越谷市医師会	7/3/31	退会	退職		整外	オオノリュウ介	343-8577	越谷市東越谷10-32		048-965-2221	
越谷市医師会	B → 退会					大野 隆一			越谷市立病院	048-965-3019	
越谷市医師会	7/3/31	退会	医師会の異動		研修	イシミ・サキ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → 退会					和泉 彩貴			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/4/1	入会			糖内	イシワタ・チサト	343-0828	越谷市レイクタウン8-10-6	医)レイクタウン内科	048-967-5012	
越谷市医師会	→ A2B					石渡 千聖		レイクタウンDMビル2階	越谷レイクタウン内科	048-967-5013	
越谷市医師会	7/4/1	異動	会員区分変更		研修	イマタ・コウタロウ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					猪又 光太郎			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/4/1	異動	会員区分変更		研修	カンカラ・リョウ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → B					梶原 峻			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/4/1	異動	会員区分変更		腎内	フジタ・ノミ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					藤田 望			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/4/1	異動	会員区分変更		整外	モダライ・ユウタ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					森平 雄太			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/4/1	異動	会員区分変更		研修	ヤマグチ・コウタロウ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					山口 雄太郎			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/4/1	異動	会員区分変更		小	タカヒ・ヒテル	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					田中 秀典			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/4/1	異動	会員区分変更		腎内	ツチャ・コウキ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					土屋 宏輝			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/4/1	異動	会員区分変更		整外	タケイ・ショウマ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					立石 翔馬			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/4/1	異動	会員区分変更		眼	ユキサダ・マサコ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	C → A2B					行足 雅子			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/4/1	異動	会員区分変更		麻	ユジ・コウタロウ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → B					湯地 晃太郎			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/4/1	異動	会員区分変更		麻	イサキ・リオリ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → B					岩崎 陸央			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/4/1	異動	会員区分変更		眼	トナキ・ナオヤ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					渡名喜 尚也			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/4/1	異動	会員区分変更		眼	マチダ・シケキ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	B → A1	管理者交代				町田 繁樹			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
越谷市医師会	7/4/1	入会			研修	イジマ・ユウタ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	→ B					飯島 裕太			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	

埼玉県医師会員入会・退会異動報告書

令7.3.1~令7.3.3

令和7年4月1日報告

No

日本醫師會用

年月日	変更区分	変更事由1	変更事由3	変更事由5	診療科目	氏名	郵便番号	住所	医療機関	電話番号	FAX番号	備考
所属医師会	会員種別	変更事由2	変更事由4	変更事由6								
7/4/1	異動	会員区分変更			小	仆ケイ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					伊藤 壱大						
7/4/1	異動	会員区分変更			脳内	カミヤマコウキ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					神山 昌輝						
7/4/1	異動	会員区分変更			整形	アベユウダイ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					阿部 祐大						
7/4/1	異動	会員区分変更			眼	カムラマサキ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					川村 征貴						
7/4/1	異動	会員区分変更			麻	オカダヤスヒサ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					奥田 泰久						
7/4/1	異動	会員区分変更			消化器	サカモトカズヒロ	343-8577	越谷市東越谷10-32	越谷市立病院	048-965-2221	048-965-3019	
越谷市医師会	A1 → B	管理者交代			肛	坂本 一博						
7/4/1	入会											
越谷市医師会	→ A1											
7/4/1	異動	会員区分変更			脳外	マルキチカシ	343-8577	越谷市東越谷10-32	越谷市立病院	048-965-2221	048-965-3019	
越谷市医師会	A1 → B	管理者交代				丸木 親						
7/4/1	入会				内	ヨシマツヒロミ	343-0845	越谷市南越谷4-5-3	一医)	048-965-1626	048-989-8021	
越谷市医師会	→ B					吉松 寛臣						
7/4/1	入会				外	カツヨミ	343-0845	越谷市南越谷1-19-2	一医) 義大会	048-988-5550	048-988-5551	
越谷市医師会	→ B					深津 裕美						
7/4/1	異動	会員区分変更			研修	ナカアカネ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	アバンセ南越谷5階	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					中田 朱音						
7/4/1	異動	会員区分変更			乳外	タカキオカ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	独協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					高木 央						
7/4/1	異動	会員区分変更			脳内	オノナコ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	独協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					小野 七葉子						
7/4/1	異動	会員区分変更			腎内	オキハラユイ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	独協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					荻原 優衣						
7/4/1	異動	会員区分変更			脳外	マザキテッペイ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	独協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					松崎 哲平						
7/4/1	異動	会員区分変更			乳外	モリリコ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	独協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	名字変更
越谷市医師会	A2C → A2B	現住所変更				森 梨香子						
7/4/1	異動	会員区分変更			小	ワオタカシ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	独協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					鷲尾 高志						
7/4/1	異動	会員区分変更			循内	ハイコウスケ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	独協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					井貝 晃輔						
7/4/1	異動	会員区分変更			麻	モリユウキ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	独協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → B					森 有輝						
7/4/1	異動	会員区分変更			乳外	ヨコヤマユウカ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	独協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					横山 夕果						
7/4/1	異動	会員区分変更			精	オグラミア	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	独協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					小倉 美晶						
7/4/1	異動	会員区分変更			消化器	カトウハルカ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	独協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					加藤 陽佳						
7/4/1	異動	会員区分変更			呼吸	サマタカナ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	独協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					佐俣 佳奈						
7/4/1	異動	会員区分変更			研修	サトウテツマ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	独協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					佐藤 天馬						
7/4/1	異動	会員区分変更			腎内	マツカワユウカ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	独協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					松川 優佳						
7/4/1	異動	会員区分変更			産婦	クラココ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	独協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					倉田 百合子						
7/4/1	異動	会員区分変更			泌	カタリハルト	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	独協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					片桐 遼人						
7/4/1	異動	会員区分変更			脳内	ホシカリハルキ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	独協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	048-965-1127	
越谷市医師会	A2C → A2B					星川 邑紀						

埼玉県医師会々員入会・退会異動報告書

令7.3.1～令7.3.31

令和7年4月1日報告

No.8

日本医師会用

年月日	変更区分	変更事由1	変更事由3	変更事由5	変更事由6	診療科目	氏名	郵便番号	住 所	医療機関	電話番号 FAX番号	備考
所属医師会	会員種別	変更事由2	変更事由4	変更事由5	変更事由6							
越谷市医師会	7/5/31	退会	その他			内	ヒロセ ヒロ	343-0856	越谷市谷中町4-25-5	医)社団協友会	048-966-2711	
		B → 退会					廣瀬 千総			越谷誠和病院	048-966-5016	
春日都市医師会	6/12/1	入会	→ C			研修	ヤマグチ カイト	344-8588	春日都市中央6-7-1	春日都市立医療センター	048-735-1261 048-734-2471	
		→ C				研修	タキシ シンタロウ	344-8588	春日都市中央6-7-1	春日都市立医療センター	048-735-1261 048-734-2471	
春日都市医師会	6/12/1	入会	→ C			整外	根岸 駿太朗			医)秀和会	048-745-6000	
		→ C					トウ ツヨン	344-0033	春日都市備後西3-8-57	浜崎医院	048-745-6099	
春日都市医師会	7/1/26	退会	死亡			研修	伊藤 純			医)秀和会	048-737-2121	
		B → 退会					伊藤 菜々子			秀和総合病院	048-737-2903	
春日都市医師会	7/2/25	退会	退職			内	カヤマ アイリ	344-0035	春日都市谷原新田1200	医)秀和会	048-737-2121	
		C → 退会					中山 愛梨			秀和総合病院	048-737-2903	
春日都市医師会	7/3/31	退会	退職			呼内	スカイ ヨシサ	344-0035	春日都市谷原新田1200	医)秀和会	048-737-2121	
		B → 退会					貫井 義久			秀和総合病院	048-737-2903	
春日都市医師会	7/4/1	入会	→ B			整外	リハ	339-0009	さいたま市岩槻区慈恩寺75番地	医)社団医鳳会	048-793-2011	
		→ B					飯田 勝			さいたま岩槻病院	048-793-2012	管理者変更
岩槻医師会	7/1/31	退会	その他			リハ	ススキ エイジ	339-0009	さいたま市岩槻区慈恩寺75番地	医)社団医鳳会	048-793-2011	
		A1 → 退会					鈴木 英二			さいたま岩槻病院	048-793-2012	
岩槻医師会	7/2/1	入会	→ A1			内	消内	339-8521	さいたま市岩槻区慈恩寺75番地	医)社団医鳳会	048-793-2011	
		→ A1					大西 敏樹			さいたま岩槻病院	048-793-2012	
岩槻医師会	7/3/31	退会	退職			内	オオニシトシキ			医)慈正会	048-757-3511	
		B → 退会					山崎 隆仁			丸山記念総合病院	048-756-6061	
吉川松伏医師会	7/4/1	入会	→ A1			整外	ヤマザキ タカヒト	342-0061	吉川市中央1-15-20	医)社団昭明会	048-981-6755	
		→ A1					山崎 隆仁			吉川整形外科	048-982-2301	
埼玉医科大学医師会	7/3/31	退会	退職			研修	イケモト サラ	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷38	埼玉医科大学病院	049-276-2107 049-294-8222	
		C → 退会					岩元 婆羅			埼玉医科大学	049-228-3400	
埼玉医科大学医師会	7/3/31	退会	医師会の異動			小	モリキ ユウイ	350-8550	川越市鴨田1981	埼玉医科大学総合医療センター	049-226-5274	
		B → 退会					森脇 浩一			埼玉医科大学	042-984-4111	
埼玉医科大学医師会	7/3/31	退会	その他			脳内	スダ サトシ	350-1298	日高市山根1397-1	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-0432	
		B → 退会					須田 智			埼玉医科大学	049-228-3400	
埼玉医科大学医師会	7/3/31	退会	退職			産婦 産	マヌキ ヒロ	350-8550	川越市鴨田1981	埼玉医科大学総合医療センター	049-226-5274	
		A2B → 退会					増子 寛子			埼玉医科大学	042-984-4111	
埼玉医科大学医師会	7/3/31	退会	医師会の異動			血内	ツカラキ クニヒロ	350-1298	日高市山根1397-1	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-0432	
		A2B → 退会					塚崎 邦弘			埼玉医科大学	042-984-4111	
埼玉医科大学医師会	7/3/31	退会	退職			研修	ヤマモト アンズ	350-1298	日高市山根1397-1	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-0432	
		C → 退会					山本 あんず			埼玉医科大学	049-228-3400	
埼玉医科大学医師会	7/3/31	退会	退職			研修	イシマ ユウタ	350-8550	川越市鴨田1981	埼玉医科大学総合医療センター	049-226-5274	
		A2C → 退会	医師会の異動				飯島 裕太			埼玉医科大学	049-226-5274	
埼玉医科大学医師会	7/3/31	退会	退職			内	トヤモト アキ	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷38	埼玉医科大学	049-276-2107	
		B → 退会					富谷 智明			埼玉医科大学	049-294-8222	
埼玉医科大学医師会	7/4/1	異動	会員区分変更			リウ	ヒロカヨシキ	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷38	埼玉医科大学病院	049-276-2107	
		C → A2B					平岡 佳樹			埼玉医科大学病院	049-294-8222	
埼玉医科大学医師会	7/4/1	入会	→ A2B			研修	タウ マサキ	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷38	埼玉医科大学病院	049-276-2107	
		→ A2B					工藤 理希			埼玉医科大学病院	049-294-8222	
埼玉医科大学医師会	7/4/1	異動	会員区分変更			研修	タカシヨシヤ	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷38	埼玉医科大学病院	049-276-2107	
		C → A2C					田中 俊也			埼玉医科大学病院	049-294-8222	
埼玉医科大学医師会	7/4/1	退会	医師会の異動			他	ホリタ タシ	359-8513	所沢市並木3-2	防衛医科大学校	04-2995-1211	
		B → 退会					細谷 直			防衛医科大学校	04-2996-5212	

小室常任

飯嶋理事

令和6年度 埼玉県医師会 医療情報関連講演会

医療DXの推進

日時：令和7年3月6日（木）18:00～19:45

場所：埼玉県県民健康センター 1階 大会議室AB
【及びWEB配信】

司会：埼玉県医師会理事 飯嶋 淳滋

1. 開会

2. 挨拶 埼玉県医師会副会長 水谷 元雄

3. 講演会 座長：埼玉県医師会常任理事 小室 保尚

I 「医療DXの全体像について」 (18:05～18:50)

講師：日本医師会常任理事 長島 公之 先生

II 「全国医療情報プラットフォームの状況について」 (18:55～19:40)

講師：厚生労働省医政局参事官（特定医薬品開発支援・医療情報担当）付

医療情報室 室長 新畠 覚也 氏

4. 閉会 埼玉県医師会常任理事 小室 保尚

※日本医師会生涯教育講座（1単位、CC；9. 医療情報、12. 地域医療）

12:00 ～ (110分)	事務局セッション 座長／佐藤委員, 福嶋委員, 前田委員 ① 日本医師会の情報システム最新報告 (10分) 日本医師会Web研修システム・誹謗中傷に関する相談窓口(google 口コミ)の新設報告など 情報システム課係長 増子厚 ② HPKIの最新の動き (15分) 電子認証センターシステム開発研究部門長 矢野一博 ③ 新会員情報管理システム(MAMIS)を有効活用するためのポイントとセキュリティについて (20分) 情報システム課会員情報室長 若井修治 • 質疑応答 (15分) ④ 最新のサイバーセキュリティについて (40分) 警察庁サイバー警察局サイバー企画課官民連携推進室 • 質疑応答 (10分)
13:50～	<休憩 10分>
14:00～ (10分)	開会挨拶 日本医師会会長 松本吉郎 石川県医師会会長 安田健二
14:10～	<休憩 5分>
14:15～ (140分)	I. 災害かつ再生に役立つ医療DX（仮） 座長／長尾委員, 佐原常任理事 • 厚生労働省医政局参事官(特定医薬品開発支援・医療情報担当)田中彰子 (20分) • 厚生労働省医政局地域医療計画課 災害等救急時医療・周産期医療等対策室室長 近藤祐史 (20分) • 日本医師会常任理事・さはらファミリークリニック 佐原博之 (20分) • 公立穴水総合病院院長 島中公志 (20分) • (調整中) • 公立松任石川中央病院 PETセンター長 横山邦彦 (20分) • 日医総研主任研究員 秋富慎司 (20分)
16:35～	<休憩 10分>
16:45～ (60分)	[パネルディスカッション] 講師+座長+長島常任理事 (60分)
17:45～	<移動時間 10分>
17:55～ (60分)	懇親会（立食）予定（3F小講堂）

令和7年3月9日（日）

総合司会：日本医師会常任理事 長島公之

10:00～ (100分)	<p>II. 医療DXと地域医療情報連携ネットワーク</p> <p>座長／合地委員、吉原委員 ・医療DXの全国医療情報プラットフォームと地域医療連携ネットワーク 日本医師会常任理事 長島公之 (20分) ・全国医療情報プラットホーム時代の地域EHRの終い方へとねつとのその後～（仮） 医療法人南越谷内科クリニック院長・理事長 中野智紀 (20分)</p> <p>【事例報告募集】 ・(20分) ・(20分) [総合討論] (20分)</p>
11:40～ (50分)	<休憩 50分>
12:30～ (80分)	<p>III. 医療DXについて</p> <p>座長／川田委員、日々澤委員</p> <p>① 国が推進する医療DX (40分) ※標準型電子カルテ含む、標準型電子カルテα版展示 厚生労働省医政局参事官（特定医薬品開発支援・医療情報担当）田中彰子</p> <p>② オンライン資格確認 (20分) 厚生労働省保険局医療介護連携政策課長 山田章平</p> <p>③ 電子処方箋について (20分) 厚生労働省大臣官房総務課企画官（医薬局併任）兼 電子処方箋サービス推進室長 猪飼裕司</p>
13:50～	<休憩 10分>
14:00～ (60分)	<p>④ 診療報酬改定DXについて (20分) 厚生労働省保険局診療報改定DX推進室室長 島添悟亨</p> <p>⑤ 医療DXに対する日本医師会の考え方と取組み (40分) 日本医師会常任理事 長島公之</p>
15:00～	<休憩 10分>
15:10～ (60分)	[パネルディスカッション] (60分)
16:10～ (5分)	閉会挨拶 日本医師会常任理事／日医協運営委員会委員長 長島公之